もうひとつの小樽 "朝里" 探訪ガイド

歴史を訪ねて

朝里 再発見

Rediscover Asari

北海道新聞中販売所

朝の里
おはようございます
いつもの聞きなれたやさしい声
アサガオが心地よさそうに花開く

1／f（エフブンのイチ）の風
肌を癒すようなほわっと暖かい風
心をやさしくさせるさわやかな風
ゆっくりとだけれど涼しげなそよ風

時が止まる里
何気なくすぎている毎日の中で
自分を見つめ直しあなたを大切にしたい
一緒に生きて住んでいく穏やかな町

ゆらぎの里
小さな思いやりをいつも心の中に
ゆらいでいるように共に喜びあって
温かな露天風呂が待ってくれている
ゆ～らりほんわか　朝里むら

詩　中一夫
朝里川温泉組合
写真　中津川清治

〈朝里再発見〉

目次

定山和尚と朝里 …… 2
神威古潭 …… 3
太平山碑 上 …… 4
太平山碑 下 …… 5
お小夜清吉地蔵 上 …… 6
お小夜清吉地蔵 下 …… 7
朝里のにしん漁 …… 8
町田外也先生頌徳碑 …… 9
三太郎地蔵 …… 10
柾里神社と松前神楽 …… 11
朝里と新光 …… 12
身代り不動明王 …… 13
並木凡平歌碑 …… 14
札樽国道開通記念碑 …… 15
朝里神社 上 …… 16
朝里神社 下 …… 17
朝里小学校 …… 18
馬頭観世音碑 …… 19
朝里村の合併 …… 20
朝里川とふる里の川づくりの会 …… 21
望洋台小学校 …… 22
望洋パークタウン …… 23
宏楽園の桜並木 …… 24
定山渓道路 …… 25
朝里再発見探訪マップ …… 26・27
豊倉小学校 …… 28
神明神社 …… 29
文治沢馬頭観音 …… 30
朝里川温泉郷 …… 31
鹿のかよい路となみだ川 …… 32
石塚友二句碑・千葉仁句碑 …… 33
青山ゆき路歌碑 …… 34
袈裟掛けの岩 …… 35
オタルナイ湖とループ橋 …… 36
金児杜鵑花句碑 …… 37
魚留の滝 …… 38
青木郭公句碑 …… 39
朝里の郷土歴史家・故小林廣 …… 40
小さな歴史を大切に …… 41
ごあいさつ・あとがき …… 42
参考文献 …… 43
朝里川温泉組合 …… 44・45
朝里川温泉マップ …… 46・47

地域の文化　応援します

編集
・週末刊〈朝里川プレス〉
・月刊〈ねっとわーく小樽〉
・年刊〈語り継がれる町おたる〉

サービス
・〈朝里川プレス〉写真サービス
・カラーコピーサービス
・トイレサービス
・会議室利用サービス
・女性用旅芝居カツラ貸し出し

事務局
・朝里のまちづくりの会
・小樽再生フォーラム
・松前神楽保存小樽後援会
・小樽の文化を育む会

（有）北海道新聞中販売所
小樽市新光４丁目１番16号
TEL 0134－51－2121
FAX 0134－52－0088

定山和尚と朝里

定山和尚座像

文久元年 張碓へやってくる

札幌の定山渓温泉は、朝里川温泉と共に、札幌近郊の温泉街として忘年会等で賑わいます。その名の由来は、定山和尚が湯治場を拓いたことからというのは有名です。

しかし、定山渓を拓く前は、旧朝里村大字張碓村の漁業を営む野村治兵衛方に寄居していたことを知る人は少ないのではないでしょうか。

1861年(文久元年)から小樽内漁場を中心に熱心な教化に努めました。大男で力持ちであったため、時には漁の手伝いもしたとの事です。

そのため、ここ朝里新光地区にも、定山和尚ゆかりのものが多く残されています。

北への教化を志す

定山和尚は、備前(岡山県)赤坂村のお坊さんの次男として生まれました。17歳から各地を巡り修行を続け、福山(現松前町)を経て、久遠郡太田村(現大成町太田)の太田山大権現の別当になります。ここは、当時西蝦夷随一の霊場と言われており、ここの別当時代に松浦武四郎や前出の野村治兵衛の知己を得ます。これらの情報によって、さらに北への教化を志したのでしょう。

朝里の人に慕われた定山和尚

一説によれば、別当職の先代からの世継ぎがうまく行かず、仮別当として2~3年奉仕したようです。しかし、その人徳はすばらしく、また人柄も優しく、子供達もよくなついていたといいます。

たった2~3年の仮別当でありながら、朝里にやってきても、太田の別当または太田の法印と呼ばれていたのがよく分かります。付近の村をまわっての祈祷も実に真摯で評判でした。朝里にお小夜清吉地蔵を自ら建立し、弔ったり、とても慈愛に満ちた人柄でもありました。

札幌で湯治場経営をしていた晩年になっても、現在の小樽定山渓線の測量をしたのですから、小樽の浜への思いは強かったのでしょう。

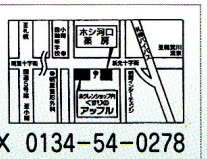
健康増進食品 厳選ベスト6 ★★★

天然の抗生物質 製法特許製品 水溶性 プロポリス液	重度成人病から慢性病まで アガリクス濃縮100% 協和の アガリクス	血栓予防・血流改善 4種類の霊芝をブレンド 和漢研の 霊芝錠
最高品質「薬後庵クロレラ」250を超える研究データと実績 クロレラ工業の グロスミン錠・液	「海のミルク」といわれてます 高純度ミネラルバランス ワタナベ オイスター錠	各種アレルギー体質改善 ぜんそく・リュウマチ 免疫ミルク (スターリーミルク)

10年以上の確かな実績とお客様の支持を得ている高品質の健康食品です。(詳しくはおたずね下さい)

慢性病に良い 心と身体の薬のご相談は……

ファルマグループ 親身な健康と美容相談
ホシ河口薬房
小樽市新光十字街(ホクレンショップ隣り)
営業時間AM9:00~PM9:00
TEL 0134-54-8209 FAX 0134-54-0278



ミニ人間ドッグ受付中! (血流・体脂肪測定) 入会無料です お気軽にどうぞ

神威古潭（カムイコタン）

かつては、アイヌの人達が畏れ敬った岬

にしんで栄えた神威古潭沖

札幌行きのJRに乗ると、張碓の所でトンネルを通過します。このトンネルの前後は、ずっと海岸線ギリギリの所を線路が敷かれています。その反対側に目を向ければ、わずかな平地があり背後には断がい絶壁の連なりです。

ここ一帯を神威古潭といい、にしん漁でとても栄えていました。1905年（明治38年）頃の全盛時代には、ここに37軒もの戸数があり、盆踊りともなると二重の大きな輪ができ、朝里の浜からも踊り手がやってきたといいます。ここに張碓駅が開設されたのは1905年（明治38年）で、漁師の生活物資と、にしん及びにしん加工品の運搬のためだったようです。

アイヌの人達イナウを捧げて通る

ここは地名からも分かるように、アイヌの人達にとっては神様の住む場所であり、大変畏れられ敬った所です。必ず木幣（イナウ）を捧げて、祈りつつ通過したといいます。

また、ここはアイヌの人達が毒矢に使うブシ（トリカブト）の名産地でもありました。

ここの岩壁が崩れる時には、必ず戦乱や凶事があるという言い伝えがあり、1856年（安政3年）にここを通った松浦武四郎も、西蝦夷日誌に具体的な事例を挙げて書きとめてあります。

定山和尚波切不動尊を建立

松浦武四郎が通過した後の1861年（文久元年）、この地へやって来た定山和尚は、この年に通行人の無事を祈願し、神威古潭の岬の突端に波切不動尊を安置しました。現在でも岬を境に天候が変わってしまう事がありますから、昔から海難事故が多かったのでしょう。この不動尊は、1910年（明治43年）の鉄道複線に伴い、張碓の三社神社境内に移転するまで、通行人を見守ってきました。

今も呼ばれる神威古潭の地名

現在の国道5号線が完成した1934年（昭和9年）の秋に、当時の北海タイムス社（北海道新聞社の前身）がトンネル上で月見の宴を開き、月明かりの風景のすばらしさに、岬を八眺山と名付けたといいます。また、トンネルの張碓側には、神工園蓬来閣という温泉場ができたそうです。現在はバス停にその名が残っているだけですが、この近くに住む人や朝里の人達は今でも神威古潭と呼んでおり、町名地番改正で変わっても、古名は人々の中でしっかりと残っているのです。

いつも、ご愛顧誠に有難うございます

今後とも、ご贔屓の程
よろしくお願い申し上げます

お米・灯油のご用は
（株）藤屋商店
フリーダイヤル
0120−33−8911
朝里3−5−21朝里十字街

お米・お酒・たばこ・
食料品・雑貨のご用命は
コミュニティーストア 新光ふじや
フリーダイヤル
0120−33−8857
新光2−27−5（新光十字街）

太平山碑（たいへいざんひ）　上

太平山の祠（写真提供 小林定典氏）

鍛冶屋の長太郎が発願

朝里十字街をＪＲ朝里駅へ下り、踏切手前を左折して朝里川に行き着くと、「お小夜清吉地蔵」があります。その横にある祠が、定山和尚が魂入れをしたという太平山碑です。

この碑の発願者は、朝里の浜で鍛冶屋を営んでいた柴田長太郎です。彼は1857年（安政4年）に妻子と義弟の三助を連れて、秋田県山本郡から朝里の荒浜に移り、にしん漁に使用する漁具や家具などを作っていました。その頃、定山和尚も張碓に寄居し、張碓朝里で教化に努めていました。時々朝里の浜にやってくる大男の定山とも、知已を得たと思います。

石工は手宮古代文字の発見者

幕末のこの時代は、戊辰戦争も始まろうとする尊皇攘夷の時代です。郷里に残してきた両親が心配になり、妻のお花も郷里が恋しくなっているため、妻と子供を帰らせる事にしました。その長い船旅が無事であるよう祈願し、定山和尚に頼んで魂入れをしてもらったのが、この太平山碑です。

朝里の浜で見つけた石に、郷里では有名な、定山和尚も修行した事のある、三吉大神をまつるため、「太平山」と書きました。両側には「海上安全」「漁業円満」と書き込み、左側面には「慶應三卯年五月十七日 太田山人書」と署名して、石工に彫らせました。この石工が、手宮古代文字を発見した長兵衛なのです。

直会（なおらい）は3日3晩続きました

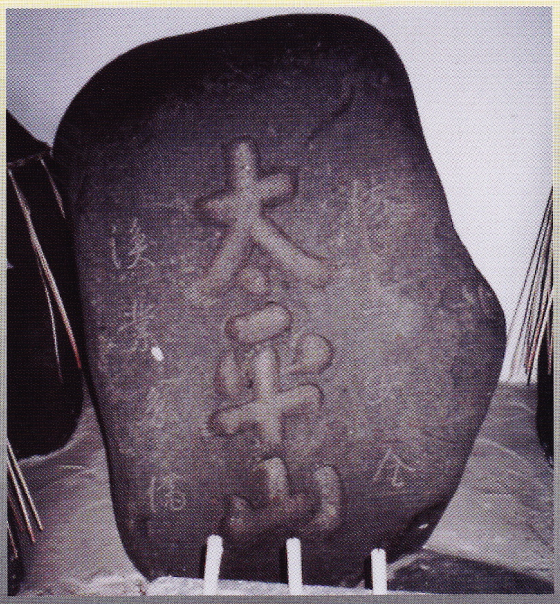
碑に「漁業円満」と書かれたように、にしん漁の豊漁祈願でもあったので、1867年（慶応3年）5月の建立祭では、村の名主や顔役、にしん漁の親方達が列席しています。その後の直会は、3日3晩に及んだそうです。酒代も含め、その経費は大変な額だったでしょうが、親方に信望厚かった定山和尚ですから、多くの寄付があったのでしょう。

ありがとうございます
小樽商工信用組合　朝里支店
小樽市新光2-1-20　☎54-8033（代）

太平山碑 下

大煙管（きせる）

大下駄



朝里の宝物太平山碑（写真提供 小林定典氏）

太平山奥の院の盤石もあります

何日かして妻子は郷里へ帰り、長太郎も1885年(明治18年)には帰りました。義弟の三助は、その後を継いでいましたが、にしん漁の不漁が続いたため、朝里の浜での鍛冶仕事に見切りをつけ、北見枝幸へ転居しました。

現在、太平山碑は朝里1丁目と2丁目の人達によって大切に守り続けられ、毎年8月下旬におまつりをしています。また、河口より約150m上った所に、太平山奥の院の盤石があり、注連縄を張って一緒におまつりしているそうです。

この祠の中には、前出の長兵衛が彫った猿賀大権現碑と、石工は不明ですが丸山作衛発願で1867年(慶応3年)7月建立の八大龍王神碑、そして石工も発願者も不明な金毘羅大権現碑があります。由来などについては詳しく伝わっておりません。私の考えでは、すべて同じ時期に、定山和尚の魂入れと長兵衛が彫ったものではないかと思います。

生活に密着した祠

祠にはこの他に昔の鉄砲かと思わせるような大煙管(きせる)と、これまた大きな下駄が2足あります。大煙管は菊地吉五郎という船頭が1932年(昭和7年)に奉納したもの。大下駄は永山喜作という人が42才の厄払のため1927年(昭和2年)に奉納したものです。ご近所の人が音の話として「七夕の日、この大煙管や大下駄をランドセルのように背負って、一軒一軒ローソクもらいの歌を歌いながら回ったものだ」と懐かしそうに話してくれました。崇めるだけではなく、もっと生活に密着した祠であり、何か定山和尚の人柄が伝わってくるようでした。

医療法人みやび会

朝里整形外科病院
院長　寺島 雅志
新光1-22-13　☎ 54-8611

朝里整形外科
おたるクリニック
院長　斉藤 断
奥沢1-1-1　☎ 31-5050

お小夜清吉地蔵 上

お小夜清吉地蔵　右２体

お小夜地蔵はかつて五十嵐家の墓そばにあった。
（写真　小樽博物館蔵　越崎宗一氏資料より）

一途な恋の物語

朝里十字街をＪＲ朝里駅へと下り、踏切の手前の道路を左へ入る。このあたりは、江戸時代から人々が住み漁業を営んでいた所です。

この道路をずっと歩いてゆくと、やがて朝里川河口にたどりつきます。この河口のふもとに小さな祠があり、その傍らに、お地蔵さんが5体並んでいます。この小さな祠にあるのが、定山和尚が魂入れをしたという太平山碑です。そして、お地蔵さん5体のうちの右2体が、これからお話する悲恋物語の主人公、お小夜と清吉のお地蔵さんなのです。

物語は1世紀以上も前の話、江戸から明治へ変ろうという時代のこと。今の小樽市は、町の中央を流れるオコバチ川を境にして、高島場所と小樽内場所に分かれていました。当時は場所請負制といって、いうならば幕府あるいは松前藩による民間委託制度です。高島場所を委されていたのが住吉屋西川伝衛門で、小樽内場所は恵美須屋岡田半兵衛でした。

琵琶湖の竹生島弁天堂の分霊を祀る

1855年(安政2年)、蝦夷地は松前藩領から幕府直轄領になりました。その時に西川伝衛門と岡田半兵衛は、ともに連れだって江戸へ上り幕府に参上します。「今後共よろしくお取り計らい下さい」という、御機嫌伺いの旅でした。その帰路、2人は近江の蒲生郡という同じ郷里であった事から、東海道を経て郷帰りしました。あちこちと見物し、琵琶湖に浮かぶ竹生島の弁天堂に参詣。その際、2人の各々の請負場所に、同じような島がありながらいまだに名前がない事に気づき、ここ弁天堂の分霊をお祀りする事を考えました。そこで分霊を受け、それぞれの島にお祀りする事にしたのでした。

鎮座祭で出会う

小樽へ戻ってきたのは冬近かったため、鎮座開眼を翌年の1856年(安政3年)に執り行いました。この年は、積丹神威岬の婦女通過を解禁された年で、近江から家族を呼び寄せて、3日間に及ぶ盛大な鎮座祭が行なわれました。最初は高島場所が行ない、次いで岡田家のある張碓での鎮座祭を行ないました。西川家も家族共々招待され出掛けます。その中に、16歳になる西川伝衛門の娘お小夜がいたのでした。そして、岡田家の関係者の中にいたのが五十嵐清吉。清吉の父、清蔵は朝里漁場の頭取で、今で言えば支店長という所でしょうか。当時、朝里に住んでおり、父の名代(父の代り)として出席したこの時、20歳の青年でした。この席で清吉に会ったお小夜は、彼に一目惚れし恋心を抱きます。

(有)レディース
トウショウ
小樽市朝里３－２－13
TEL 0134－54－5115
日専連小樽・JCB・VISA等各種カードをご利用下さい

お小夜清吉地蔵 下

朝里海岸

日々につのる恋心

お小夜の淡い恋心は日に日に高まり、一緒になりたい、もう一度会いたいという思いが強くなっていくのでした。ところが清吉には既に許嫁がおり、所詮は叶わぬ恋なのです。しかし、一度燃え上がった恋心は、純真がゆえに静まってはくれません。逆に破談になってほしいとばかり、高島弁天様に祈りつづけました。その一途な思いは張碓弁天島（現恵美須島）の弁天様を大時化で流出させ、清吉の体を衰えさせてしまうのでした。張碓に住んでいた定山和尚は、漢方にも秀でていたため、清吉のために薬を調合したり、祈祷を行ったりしたのでしょう。しかし、それも叶わず、結婚を間近に控えて、27歳で亡くなってしまいます。長男を失った五十嵐清蔵の悲しみは大きかったことでしょう。

定山和尚が一対の石地蔵を建立

清吉が亡くなって14日目の法要が営まれた翌朝、朝里の浜に若い女性の水死体が打ち上げられました。それは変わり果てたお小夜の姿だったのです。7年間、一緒になりたいとばかり祈り続けた結果、破談どころか清吉を死なせてしまった驚きと悲しみ。お小夜の心を知っていたのは定山和尚と西川伝衛門夫婦だけでした。定山和尚は、お小夜の髪の一部を譲り受け、五十嵐家敷地内の、清吉が眠る先祖の墓の隣りに埋め、そこに一対の石地蔵を建立しました。

その後、五十嵐家は次男清作が継ぎ、定山和尚の口利きで、定山和尚の養女でもあった野村治兵衛の次女と結ばれました。しかし、この縁も数年で破談、やがて五十嵐家は朝里村から転出。その後、いつのまにか、清吉地蔵だけが行方不明になってしまったのです。昭和のはじめには、墓とお小夜地蔵は畑の中にあったそうです。

ふくよかにほほえむお小夜地蔵

朝里も宅地化が進み、畑には次々と家が建ち、墓とお小夜地蔵は長らくTさんの敷地にありました。年代は定かではありませんが、今お小夜地蔵は、行方不明になっていた清吉地蔵と並んで朝里川河口に祀られています。

Tさんの敷地には、現在アパートが建っています。ご近所の人と話したところ、お墓とお地蔵さんがあったのは知っていても、悲恋物語は知らなかったそうです。でも、時々お地蔵さんを訪ねてくる人が何人かいたそうで、何かの由来はあるのだろうと思っていたとの事。

清吉地蔵の顔は風化して表情はわかりませんが、お小夜地蔵はふくよかに微笑んでいるようにみえます。今はあの世で仲良く暮らしているのでしょうか。

鈴木電気工事店
代表取締役 鈴木 照利
小樽市朝里4－3－7
☎54－6518

朝里のにしん漁

朝里におけるにしん陸揚げの景（右 / 大正中頃　左 / 昭和14年頃）
（写真提供 共に奥山稔氏）

少しずつ増えている幻の魚

今年の3月19日付北海道新聞記事に、留萌市礼受町で45年ぶりのにしん群来の話が載っていて、「嫁に来て30年で初めて見た」という談話もありました。

朝里の浜では、1954年（昭和29年）が最後ではないかという事でした。日本海沿岸では、今や幻の魚となってしまいましたが、それでも近年は少しずつ漁獲量が増えているようです。再び朝里の浜が乳白色に染まるのは、案外近いかも知れません。

朝里の村はにしん漁から始まる

朝里の村はにしん漁から始まったといっても、決して過言ではありません。江戸時代、道南地方だけだったにしん漁は、1784年（天明4年）以降、長く凶漁が続きます。にしん漁場は、だんだんと北上し、やがて朝里にも漁場を置き、定住するようになったわけです。

当時どれだけの漁師が朝里に住んでいたのかは定かでありません。1918年（大正7年）11月に、当時の朝里村四ヶ村の漁業組合である小樽郡漁業組合が発足しました。その時の組合員数は、朝里村35人、熊碓村63人、張碓村82人、銭函村49人の合計229人です。3年前の四ヶ村全体の人口数5483人から見ても、朝里村35人というのは少なすぎると思います。おそらく、この数は親方（網元）の人数で、このもとで働いていた漁師の数はもっと多いと思います。

海が群来（くき）たとなると、当時の小学校は、下校の鐘が突然鳴り響きます。子供たちは家に帰ると、すぐにモッコ（木製の背負い箱）を持って浜に駆けつけ、にしん運びを手伝ったそうです。小学校には農家の子供もいますが、学校は臨時休校になってしまうのですから、全員が下校します。村中がにしん漁の手伝いに出かけました。

朝里の浜が再び群来（くき）る時は

先日、こんな話を聞きました。ある時、朝里新光地区の集まりがあったそうです。出席していた人が、留萌の群来の話題から、子供の頃のにしん漁の話になって、「農家の子供は、忙しくても手伝ってくれなかった」と口論になりそうだったというのです。子供の頃の話ですから、かれこれ70年くらい前の話です。それを、昨日の出来事のように口論し合う思い入れの深さに、私は嬉しくなりました。当時のにしん漁の賑やかさが目に浮かぶような話です。

朝里のにしん漁等浜の暮しについて、朝里1丁目の能登利喜雄氏が、御自身の経験も含めて記録する予定との事。近年中に朝里の浜が群来て、新しいページが加わることになるかもしれません。

町田外也先生 頌徳碑（しょうとくひ）

町田先生頌徳碑　大正十五年建立

大正９年町田先生の学校葬・円内は町田先生（写真提供 小林定典氏）

朝里村民にも慕われた人

朝里十字街を海へ下っていくと、左側に故町田外也先生頌徳碑があります。

町田外也は、1888年(明治21年)から1920年(大正9年)まで朝里小学校の校長先生をされていた人です。慈愛に満ちた人で、児童はもとより、朝里村民にも慕われていました。先生が村民に声を掛けると、魚一箱を土産にくれたというエピソードもあるほどです。

赴任してきた明治21年は、鰊の不漁で1年4ヶ月にわたって休校していた時でした。当時は村民がお金を出しあって運営していたので、しかたなかったのでしょう。赴任して村の実情を知り、教育の大切さ、村の発展を心に誓ったのではないでしょうか。

小学校跡地を見下ろせる高台に建設

在職中の1920年(大正9年)、台風による学校の窓枠修理のため、自ら梯子にのぼっての作業中、転落。それが原因で急性肺炎になり亡くなりました。その当時の児童や村民の悲しみは、とても大きかったに違いありません。

この碑のある地には、稲荷神社があり、大正6年に現在の朝里神社に移転してから空地になっていました。

1926年(大正15年)、同窓生一同は先生の徳望を後世に伝えるため、海岸から担ぎ上げた石で礎石を築き建立しました。赴任した当時の小学校が、ちょうど碑の下の公園になっているところですから、当時の小学校跡を見下ろすように建っているのです。

毎年9月中旬「恩師を偲ぶ会」を開催

敷地内のオンコ等は、外也先生の孫にあたる人の奥さんより寄贈されたものです。また、毎年9月中旬に朝里小学校同窓会として「恩師を偲ぶ会」を開催しています。同窓生の中には、前を通る時には一礼をしていく人もいるとの事ですから、約80年たった今も、故町田先生の思いは朝里新光地区に生き続けているといえるでしょう。

おかげさまで30周年　さらに身近なしんきんへ

北海しんきん 朝里支店

小樽市新光１丁目10－15　TEL 0134-54-8158

三太郎地蔵

柾里地蔵尊堂に祀られている三太郎地蔵

柾里地蔵尊祭り（５月）

朝里墓地にある三太郎地蔵

朝里４丁目の国道の下に朝里墓地があります。国道からも墓石の一部が見えるのですが、この地域に住んでいないと見過ごしてしまうでしょう。

この墓地は、柾里の交差点を海側へ下った突当たりにあります。交差点の入口には、ガラスコップ等を作らせてくれるガラス工房があり、最近は観光客もよく来ますので、分かりやすい目印になっています。この朝里墓地の端にお堂が建っていて、この中に柾里地蔵尊として祀られているのが、三太郎地蔵です。

この地蔵さまを建立したのは中山三太郎といい、朝里の浜ににしん漁場を持っていた親方(網元)でした。

家族７人一度に失う

１８６２年(文久２年)旧正月の15日、中山三太郎は漁場の倉庫修築用としての木材を求めて、石狩に保津船を出します。石狩での積み込みを終えて朝里まで戻ってくる途中、朝里の神威古潭沖で急に海が荒れ、船は木材や乗船者と共に沈んでしまいました。しかも、この船には中山三太郎の親子兄弟ら家族７人が乗っていたため、親族を一度に失ってしまったのです。彼は深い悲しみののち、供養のためと、家族を同じ船に乗せるのを戒めるために、この地蔵さまを建立しました。朝里郷土史家の故小林廣氏の資料によると、この地蔵さまの開眼式にも定山和尚が招かれて執り行ったようです。

子宝に恵まれるというお地蔵様

建立した１８６２年(文久２年)が、たまたま戌年であったため、後年子宝に恵まれない夫婦や乳の出ない人がお詣りすると願いがかなうと評判になり、大変人気があって例祭もとても賑やかだったとのことです。

この地蔵さまの周りには、小さな地蔵さまが合計して２１体あります。これは子供を亡くした人が地蔵さまを作ってお祀りしているのだそうです。お堂も昔はなく野ざらしだったのですが、５０数年前に木造の祠になり、現在のは１９９８年(平成10年)に出来たものです。改築費も寄付の他、維持費の一端としてテレホンカードをお守り代わりに、この地蔵さまの開眼式にも定山和尚が招かれて執り行ったようです。

地域の人の信仰が厚い

何度か訪ねましたが、地域の人に守られているので、線香のにおいと供物はいつもありました。三太郎地蔵も立派なお堂の中で、心なしかにっこり笑っているように感じられます。子宝に恵まれない人達は子供が授かるように、また家族の安全ご守護のために、一度お詣りされてはいかがでしょうか。

柾里神社と松前神楽

川裾大明神（右）
八大龍王神碑（左）

松前神楽（獅子舞五方の手）

今も朝里の浜を　静かに見下ろす柾里神社

松前神楽の小樽伝承発祥地

ＪＲ朝里駅に向かって左側に行くと、踏切があります。この踏切の山側の小高い所に、朱塗づくりの小さな祠が見えます。ここが柾里神社で、小樽で一番最初に松前神楽が伝えられた所といわれています。小樽伝承発祥の地というわけです。松前神楽は、松前藩主が城内神楽として定めていたもので、約３５０年の歴史があります。先日の冬季国体でも演じられたとの事なので、ご存知のかたも多いでしょう。

柾里神社は、１８１７年（文化14年）5月に建立されました。建立者は、朝里漁場の親方（網元）の原田治五右衛門です。彼は、元々福山（現松前町）の出身であり、にしん漁場の北上と共に移り住んでいました。

宗家常磐井秀太来村する

この神社の祭礼などは、福島大神宮の宮司家であり、松前神楽の宗家でもあった常磐井家が行っていました。原田家から常磐井家へ養子を出すなど、元々縁戚関係にあったため、この遠い柾里神社にも来ていたのだと思います。その後、常磐井家第１４代宮司秀太が、原田家から嫁を迎えた事から、松前神楽も伝わりました。朝里の村人、中島由松、増川庄五郎という人達に伝え、多くの村人も教わりました。小樽市内でも秀太の伝承により拡がり、その中で木村文吉（松前文鳥）という有名な人も育っていくのです。小さな祠ですが、小樽市にとっても大変重要な史実が残る神社だと思います。

神威古潭の稲荷社を合祀

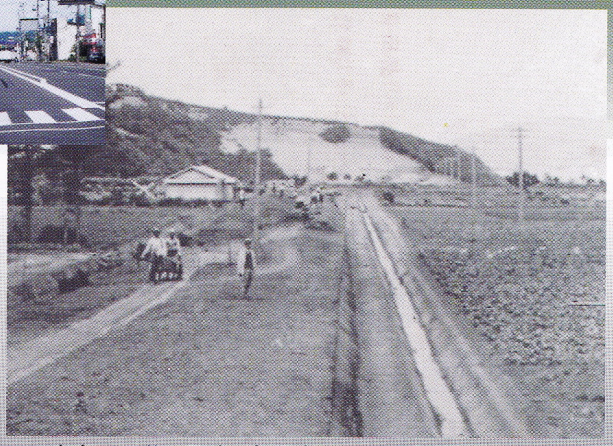
ここには、神威古潭にあった稲荷社と川裾大明神碑、八大龍王神碑が、平成2年9月から合祀されています。神威古潭も、昔は約４０軒もの人家が並んでいて、この漁場の人達が祀っていたのが稲荷社と前記の二つの碑です。祀る人がなく荒れたままになっていたのを、朝里の人達が相談し、合祀する事にしたのです。川裾大明神碑は、１８６７年（慶応3年）3月、能渡屋という屋号の人の建立。八大龍王神碑は同じ年の5月、鈴木という人の建立である事が分かります。いずれも、定山和尚の入魂、石工は長兵衛と伝えられています。

ここへは朝里墓地より海側、畑の横の小道を通って行くとよいでしょう。境内からは朝里の浜を一望でき、春の潮風に吹かれると、気分は最高です。訪ねてみれば、ここに祠を建てようとした気持ちが分かる事でしょう。

―心のふるさと―
高野仏壇製作所
■仏壇、仏具、仏間の修理、洗濯
小樽市朝里２丁目（じゅらく台公園向）
☎54－6200 FAX兼用　☎54－3650

朝里と新光

朝里十字街（現在）



中央が国道５号線　朝里十字街から小樽に向かって
（写真 徳光満氏蔵「札樽国道小樽銭函間改良工事写真帖」より）

山の上と呼ばれていた新光

朝里も新光も、かなり古くから住んでいる人がいらっしゃいます。この人たちの先祖を辿ると朝里は漁師で新光は農家という人が多いようです。これも歴史の古い地区だからでしょう。

小樽内場所請負の収入源はにしん漁で、浜のわずかな土地に、海岸線に沿って住んでいました。ですから、その上はすべて「山の上」。張碓村も朝里村も、昔は山の上という字名がありました。

朝里村字山の上も、昔は鬱蒼とした原始林で、鹿や熊が頻繁に出没していました。現在の道道定山渓線は鹿の通り道を道路としたという事ですから、まさに獣道だったのです。この原始林も、にしん漁には欠かせない木材として切り出されていき、その後は、にしん干場と自家用野菜畑として拓けていきます。

山の上に青山三蔵が入植

この山の上一帯に初めて入植したのは、1877年(明治10年)頃に入った青山三蔵という人。同じ頃播摩、浜田という人も農業をするために入植。そして、開拓使へ山の上一帯の払い下げ出願をします。驚いたのは漁師の人達。大事なにしん干場がなくなっては漁を続けられないので、多いにもめる事になります。

結局、細く通っていた現在の国道を境として海側は漁師で山側は農家が使用する事で落ち着きました。

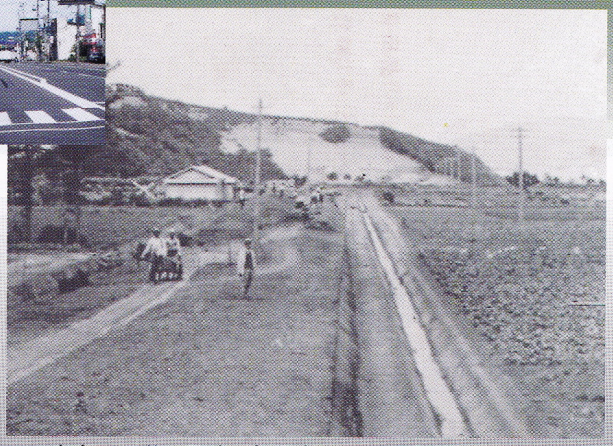
1943年 新光町誕生

やがて、にしんは不漁が続き、漁師の人達は、かつてのにしん干場に住居を構える人も出てくるわけです。現在のように、朝里、新光と呼ばれるようになるのは、小樽市と合併した3年後、1943年(昭和18年)1月の町名変更によってです。昔の話し合いの境界がちょうど町名境になっているのですから、当時の担当者は昔の争い事を知っていたのでしょうか。

有限会社 片岡商事
代表取締役 片岡 昇三
小樽市新光２丁目３番８号 TEL FAX (0134) 54-8402

朝里と新光

朝里十字街（現在）



中央が国道５号線　朝里十字街から小樽に向かって
（写真 徳光満氏蔵「札樽国道小樽銭函間改良工事写真帖」より）

山の上と呼ばれていた新光

朝里も新光も、かなり古くから住んでいる人がいらっしゃいます。この人たちの先祖を辿ると朝里は漁師で新光は農家という人が多いようです。これも歴史の古い地区だからでしょう。

小樽内場所請負の収入源はにしん漁で、浜のわずかな土地に、海岸線に沿って住んでいました。ですから、その上はすべて「山の上」。張碓村も朝里村も、昔は山の上という字名がありました。

朝里村字山の上も、昔は鬱蒼とした原始林で、鹿や熊が頻繁に出没していました。現在の道道定山渓線は鹿の通り道を道路としたという事ですから、まさに獣道だったのです。この原始林も、にしん漁には欠かせない木材として切り出されていき、その後は、にしん干場と自家用野菜畑として拓けていきます。

山の上に青山三蔵が入植

この山の上一帯に初めて入植したのは、1877年(明治10年)頃に入った青山三蔵という人。同じ頃播摩、浜田という人も農業をするために入植。そして、開拓使へ山の上一帯の払い下げ出願をします。驚いたのは漁師の人達。大事なにしん干場がなくなっては漁を続けられないので、多いにもめる事になります。

結局、細く通っていた現在の国道を境として海側は漁師で山側は農家が使用する事で落ち着きました。

1943年 新光町誕生

やがて、にしんは不漁が続き、漁師の人達は、かつてのにしん干場に住居を構える人も出てくるわけです。現在のように、朝里、新光と呼ばれるようになるのは、小樽市と合併した3年後、1943年(昭和18年)1月の町名変更によってです。昔の話し合いの境界がちょうど町名境になっているのですから、当時の担当者は昔の争い事を知っていたのでしょうか。

有限会社 片岡商事
代表取締役 片岡 昇三
小樽市新光２丁目３番８号 TEL FAX (0134) 54-8402

身代り不動明王

恐い顔がどことなくユーモラスなお不動様

親しみやすいお顔のお不動様

朝里から銭函方面へ車を走らせると、国道5号線は大きく右にカーブします。すると右手に色鮮やかなお不動様が建立されています。お不動様は一般的に忿怒（ふんぬ）の相といって、とても恐い顔なのですが、ここのお不動様はどことなくユーモラスで親しみやすい顔です。

この不動像は身代り不動明王といい、1959年(昭和34年)10月28日に川口明正（かわぐちめいせい）という行者が建立したものです。当時の国道5号線は、自家用車が増えた事もあって、とても交通事故の多い道路だったそうです。

すべて自力で作り上げる

そこで彼は、交通安全を願い身代り不動明王を建立する事を決意。鉄筋による骨組み、コンクリート練り、形作りのすべての工程を、自力で作り上げました。人柄は温和で心遣いのやさしい人だったそうなので、お不動様の顔も人柄が出たのでしょう。

建立地は神示を受け、当初は景勝園を予定しましたが、かなう事が出来ません。不動明王像は完成したのに、場所も決まらず魂入れも出来ず、一時は不動像と共に海に身を投じようとまで思いつめました。しかし、信者を通じ当時市議会議員だった見延庄一郎という人が奔走し、農地だった一画の提供を受け、ようやく建立されたのです。当時は、現在より50メートルほど海側に建っていましたが、道路拡幅により1988年（昭和54年）に移転しました。

例大祭は警察署からも参加

見延氏は、単に宗教的な動機だけではない彼の熱意に、心通じるものがあったのでしょう。当時小樽市交通安全協会長でもあったため、毎年10月28日の例大祭には、警察署からも参加。交通安全の幟をたてて盛大に執り行っていましたから、これは交通安全キャンペーンの先駆けのようなものだったのかもしれません。また、この不動明王の建立後、神威古潭周辺での交通事故はおきなくなったそうですから、お不動様が見守っているからでしょう。

現在も8人の行者を含む50人ほどの信者がいて、毎月28日には集まってお祀りしています。

建立されてから今年で40年が経ちます。その間ずっと交通安全を見守り続けたお不動様です。ドライブの途中ちょっと寄ってみてください。急ぎ心に手を合わせ、ゆっくり深呼吸をしてから、ハンドルを握り直してみませんか。

PALM
パルム
5・15・25日
3割引デー
ご存知ですか？
手づくり焼抜パン
小樽市新光3－3－3　TEL 54－8411

並木凡平歌碑

並木凡平碑

口語短歌を道内に普及

大正から昭和初期にかけて、日本歌壇界では石川啄木らがはじめた口語短歌が、かなりの勢力を持っていました。その頃の北海道を代表するのが並木凡平です。彼の碑は、張碓トンネルに入る手前の朝里不動尊境内に建っています。碑文は「廃船のマストに／けふも浜がらす／鳴いて日暮れる張碓の浜」

小樽新聞社（現北海道新聞社）勤務

並木凡平は本名篠原三郎といい、1891年（明治24年）札幌に生まれました。1909年（明治42年）の北海新聞記者をはじめとして、道内の大小含めて42社もの新聞社を転々とし、1920年（大正9年）小樽新聞社に入社します。

少年期より和歌、俳句などに親しみ、雑誌などへの投稿もしていた彼は、小樽新聞では口語歌壇のコーナーを新設し、口語短歌の振興に努めました。1927年（昭和2年）に「新短歌時代」を、1931年（昭和6年）に「青空」を創刊。その6年後には新聞社を退社。コップに自作の歌を焼き付けて道内を巡り、コップ販売と共に口語短歌普及の先頭に立って、多くの弟子を得ます。1939年（昭和14年）室蘭日日新聞社入社のため小樽を去り、2年後に51歳という人生を終えました。

庶民のための短歌が信条

彼の信条は、一読しただけで誰にでも分かる庶民のための作歌にあったといい、そのため歌は生活感に満ち、人柄の優しさもあって多くの人々に親しまれてきました。

この碑は、凡平の弟子となった人や彼を慕う多くの人々によって、小樽を去る前年の1938年に建てられました。因みに彼の歌碑は、道内に3基あり、そのひとつがこの碑です。1957年（昭和32年）には弟子達により「凡平会」が発足し、毎年9月24日の命日には、碑にお酒が注がれ、歌供養をしていたそうです。生前、オミキノンベイというあだ名があった彼に相応しい供養ではないでしょうか。

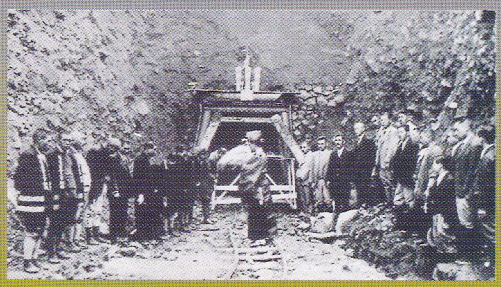
碑文の場所は道路改修のため奥まった位置になってしまい、分かりづらくなっているのが残念です。また、すぐ上が高速道路というのも、少々雰囲気を損いますが、海に向って建っていますので、一度訪ねてみてはいかがでしょう。

おいしさが広がる手作りの味!!

和洋菓子
里李庵
リリアン
（朝里十字街）
☎ 0134-54-6127

札樽国道開通記念碑

記念碑


掘削工事の前に行われた山神祭り

実際の掘削工事の模様

（写真　徳光満氏蔵「札樽国道小樽銭函間改良工事写真帖」より）

歌にも出てくる札樽国道

小樽市民にとっては、国道5号線というより札樽国道といった方が馴染みやすいのではないでしょうか。現在、この国道には2ヶ所のトンネルがあります。そのひとつが、張碓地区と朝里地区に境界にある張碓トンネルです。

トンネルのある岬は神威古潭といい、昔から神の住む岬として敬われています。神様が住んでいるからかどうか分かりませんが、このトンネルを抜けるとガラリと天候が変ってしまうのを経験した人も多いでしょう。この朝里側入口の中央分離帯部分に建っているのが札樽国道開通記念碑です。

失対事業により開通工事

札樽間は、昔から海岸沿いの道しかありませんでした。日露戦争中に、急ごしらえの俗にいう「軍用道路」が出来ますが、急坂が多く荷馬車も通れず、一部は廃道同然でした。

時は移って1931年(昭和6年)世界中の不況の中、失業対策として、3ヵ年計画で延べ約50万人、工費費150万円をかけて現在の国道が完成しました。完成時の写真帳を見ると難工事である事と神様の住む所という事で、山神祭を行ない御祓いの後、掘削を進めているのが分かります。

旧朝里村が記念碑設立

この碑は、当時の朝里村が道路完成の5ヶ月後の1934年(昭和9年)6月に建立したものです。裏面と側面にあった銅板は、第2次大戦の金属供出で取り外されてしまい、今となっては碑文に何と書いてあったのか記録も記憶もありません。

現在は、新張碓トンネルが出来たため、トンネル制御用の建物の影に移動されてしまい、非常に分かりづらい位置にあります。また、近づこうにも車両が多く非常に危険です。記念碑は先人の思いを後世に伝えるものです。もっと安全で、分かりやすい場所に移せないものでしょうか。

未来　夢　躍進
総合建設業
近藤工業株式会社
小樽市若竹町3番1号
TEL（0134）32−5500
FAX（0134）29−0344

朝里神社 上

昔の祭礼風景（1933年）（写真提供 奥山稔氏）

昔も今も、かわらず、人々を見守りつづける社

にしん漁を守った稲荷社

朝里小学校の隣で、住宅にかこまれるようにして朝里神社が建っています。境内は大木に囲まれているわけでもなく、どちらかというと殺風景な印象を受けます。しかし、毎年9月5日の例大祭には、たくさんの出店でとても賑やかです。

現在の朝里神社には、朝里新光地区にあった3つの神社が合祀されています。朝里村の村社は、1834年(天保5年)漁師の人達が海の見える場所に安置した稲荷社でした。

豊漁と海上安全祈願のため、昔の小樽の海岸沿いには保食神(うけもちのかみ)を祀る稲荷社が多く建っていました。それは、それだけ漁業が盛んで多くの漁場があったという証しでもあるわけです。

1917年 現在地に移転

ここ朝里の稲荷社も、朝里の浜を中心とした漁場の人達を見守ってきました。場所は、故町田外也先生頌徳碑の所です。海岸沿いにあるちどり公園の横には、広島の厳島神社のような形の鳥居があり、崖斜面を登ってお祀りするようになっていたそうです。村社になったのは1875年(明治8年)、現在地に移転してきたのは1917年(大正6年)の事です。

現在地には天満宮がありました

移転先である現在地はなんだったのかというと、ここには山の上天満宮があったのです。この天満宮がいつ頃建てられたのか、調べてみましたが分かりません。明治30年前後の事だと思います。建立したのは、朝里山の上(現在の新光地区および朝里2丁目、同3丁目)の農業開拓の祖である青山三蔵という人です。朝里の農業発展を語る時には忘れてはならない人で、用水路を堀り水を引き、朝里ではじめて水田を作ったのもこの人です。

神社を建てる事になった時、彼は能登から移住して最初に入植した奥沢の天満宮より御分霊を請けて、現在地に祠を建て安置。それ以後、農家の人達の神社となりました。建立当時は荒れ地の草原であったといいます。

1915年(大正4年)9月、道庁へ合祀と共に名称変更願いを提出。同年10月15日、道庁指令6978号によって正式に許可されました。なぜ、この時期に合祀願いを提出したのか定かではありません。また、いつの頃かわかりませんが、現在の新光5丁目35番地にあった住吉神社の分霊社である住吉社も合祀されています。

よい品をどんどん安く売る
暮らしの衣料・たばこ
みやた
北海道小樽市新光2丁目1番29号
TEL (0134) 54−7318
FAX (0134) 52−1391

朝里神社 下

1984年、洗われて、色鮮やかによみがえった武者絵

定山和尚ゆかりの灯明台

朝里神社にも定山和尚ゆかりのものがあります。1970年(明治3年)8月15日に、朝里で鍛冶屋を営んでいた柴田長太郎が、定山和尚作という和歌を刻んで奉納した灯明台です。鍛冶屋の長太郎は、太平山碑の発願者であり、魂入れしたのが定山和尚なので、その縁で和歌も詠んでもらったのでしょう。長らく所在不明だったのを、新光に在住の郷土史家横川幸作氏が1974年(昭和49年)、社殿の床下で発見し活用するようになったとの事です。現在も使用されているようですが、25年経った今では、その由来は誰も知らず忘れさられたようでした。

朝里の奴は小樽でも有名でした

定山和尚に関するものは、奴(やっこ)の舞いもあります。昔の例大祭には、定山が教えたという奴がとても有名で、住吉神社の神輿も「朝里の奴が出なければ出ない」といわれていたとの事。朝里の人達の勇ましい奴姿が目に浮かぶようです。

社殿内に残る古い武者絵

また社殿内には、古い武者絵の額が2枚掲げられていますが、年代や作者等は判っていません。以前は煤けて絵もよく見えなかったのですが、1984年(昭和59年)の社殿新築の際に洗い、色鮮やかになっています。おそらくは大漁祈願の奉納額だと思いますが、末長く保存していくためにも、由来を明らかにしたいと思います。

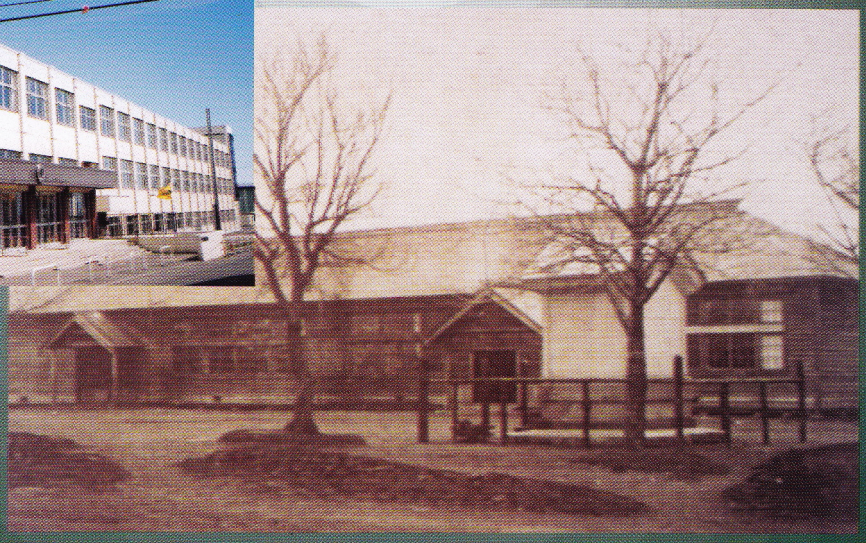
移転話も何度かあり代替地もあるのだそうですが、昔のままで祀られています。地域の真中で、そこに住む人達を守ってくれるのが神社としてふさわしいのではないでしょうか。小学校の隣地で、子供達の成長も、ずっと見守ってもらいたいものです。

まっしろな愛応援します。
クリーンサービス
マルカイチ
本社工場　小樽市朝里4丁目3番6号
☎0134-54-8655

はやし商店
酒・たばこ・食料品（配達します）
ぴよちゃんクリーニング取扱店
新光1-25-28
☎ 54-8327

朝里小学校

現在の朝里小学校



明治42年朝里交差点西側角地へ移転した校舎（写真提供 小林定典氏）

教育の始まりは朝里の浜から

朝里小学校の歩みは、1876年(明治9年)11月1日、朝里の海岸沿いに朝里教育所が開設されたのが始まりです。これ以前にも、松前藩士が1862年(文久2年)頃に、2～3年教えた事がありました。

旧会津藩士211戸約700名の入植地が余市に決まる1871年(明治4年)以前、彼らは小樽郡と高島郡に寄留していました。朝里にいた旧会津藩士渡辺竹八(入植する年に開拓使に提出した血判書では渡辺竹八義信)は、寺子屋を開き四書五経を教えていました。しかし、学校という形では朝里教育所が最初なのです。

札幌農学校同じ年に開設

渡辺竹八が去った後、漁場の親方である亀谷藤次郎が、朝里に教育所を設置すべく小樽郡長に願書を提出したのは1876年(明治9年)7月のこと。同年8月認可。現在のちどり公園の場所に平屋の校舎を村費で建て、同年11月1日に開校しました。この年の8月には札幌農学校が開校しているので、北海道大学と同じ歴史を歩んでいるわけです。

公園敷地を見て分かる通り、現在では考えられないような狭い校地で、ここに校長公宅もあったのですから運動場などありません。当時、近くにあった稲荷社の前の広場で、整列させて体操をしたそうです。

明治も中頃になると、定住する人も多くなり、通学する子供達も増えて狭隘になったため、1909年(明治42年)11月、朝里交差点西側角地へ移転、3学級になりました。ここでは屋外運動場、今でいうグランド敷地もあり、2教室をひとつにして、講堂として使用できるような設計になっていました。

宅地化ブームで増改築が続く

1952年(昭和27年)11月の校舎焼失によって現在地に移転したのは、翌年の11月のことです。なぜか、11月に大きな節目があるようです。この頃から、朝里新光地区の宅地化ブームが始まり、児童数は急激に増加。校舎は1955年からほぼ2～3年毎に増改築工事を実施していて、現在の校舎になったのは1985年(昭和60年)1月です。その間、1983年には、最多の30級1156名にもなりました。

開所時は1学級20名程度だったのが、開校123年の1998年度は20学級656名です。今までに約8000名が巣立っていきました。

「古き器に新しき教えを盛りし」小学校

現在はアスレチック設備やコンピューターも設置されている反面、郷土資料コーナーもあり、「古き器に新しき教えを盛りし」という校歌を実践している小学校です。

一つ一つの新しい出来事が古き器を少しずつ形作っていきます。開校120周年を記念して、ちどり公園の発祥の地に記念碑が建立されています。古き器を忘れず、朝里小学校卒業を胸を張って答えられる子供達が、これからも巣立っていく事でしょう。

馬頭観世音碑

正覚寺境内にあった馬頭観世音碑

農馬供養の馬頭観世音碑

昔の農家にとって、馬はとても重要な存在でした。私の実家も農家です。農耕馬は、農家にとって家族同然です。その農耕馬を供養する碑が馬頭観音碑なのですが、当時は豊倉地区にあるのみで、朝里新光地区にはありませんでした。そこで、1949年(昭和24年)10月、当時の農家の青年達による集まりである沃青会によって建てられたのが、この馬頭観世音碑なのです。

すべて、青年達の力で建立

碑石となる棹石は、朝里川岸から2日間かけて、当時の建立地である新光十字街の東角地(現在のベスト食品工業)まで運び上げました。碑文を石工に彫ってもらった以外は、揮毫も含めすべて会員の奉仕により仕上げました。その大きさは、高さ2m以上もあるものです。毎年9月には、この場所で農家の人々が集まって例祭を行っていたそうです。

移転を余儀なくされる

1973年(昭和48年)5月、道々定山渓線の道路拡幅工事のため、移転を余儀なくされました。場所探しに苦慮していたところ、正覚寺の先代住職の厚意により境内に移転。1978年(昭和53年)10月には、建立30周年記念として碑文プレートも取り付けられました。

今はない碑を後世に伝えたい

正覚寺に移転しても、毎年の例祭は続けられていました。しかし、馬頭観世音碑の世話をする人も高齢化してきたという事から、建立50周年の1998年(平成10)11月17日、最後の法要を執り行なって解体したのでした。現在、跡地は更地となっており、碑を知っている人の記憶の中に残るのみです。

朝里新光地区は、すっかりと宅地化が進み農地も少なくなっています。しかし、農家の人々が自力で建て、この地区のシンボル的な存在だった馬頭観世音碑を、忘れることなく後世に伝えていきたいものと思います。

朝里村の合併

1924年に建てられた、２階建て洋風建築の朝里村役場　（写真提供 小林定典氏）

1865年 村並となる

現在の小樽市域は、蘭島から銭函までと広いのですが、1940年（昭和15年）までは、現在の桜町から銭函までが朝里村として独立した村を構成し、村役場は朝里にありました。

古くは「浅里」「浅利」等と記されていた朝里が、場所請負制度を廃し村並みとなったのは1865年（元治2年）の事です。幕府は、オコバチ川から札幌寄りの小樽内場所をひとつの村として扱い、名主や年寄等の村役を置きました。

小樽郡朝里村と名付けられる

明治に入ってから小樽郡となり、1870年（明治3年）4月に朝里村外三ヶ村（熊碓、張碓、銭函）の村名が付けられました。にしん漁はますます盛んになり、それと共に農業を営む人も現われ、村政の基礎を固めました。ですから、朝里村としての行政上の始まりから数えて、来年で130年、村並になってから135年という事になります。1902年（明治35年）4月には二級町村制が実施され、戸長時代から村長がいる朝里村となりました。

財政の中心 やはりにしん漁

村政の中心的な財源であるにしん漁は、豊凶漁の変動を繰り返し、農業はりんご、さくらんぼやねぎ等の名産品を育てました。1924年（大正13年）には、2階建洋風建築の朝里村役場、翌年には漁業組合事務所を新築しました。

小樽市と朝里村の合併

やがて朝里も戦争の時代に入ります。小樽市は1935年（昭和10年）から、高島村、朝里村の合併を進めます。1938年には満州事変勃発と統制経済が始まり、1940年4月1日高島村合併。朝里村の合併は同年9月1日の事でした。同年8月15日の小樽新聞は、合併の理由を「相互住民の福祉増進」と記しています。朝里村は水道敷設や船入澗の修築等、小樽市は工業地帯と住宅地としての広大な土地の活用ができ、「大小樽」が生まれるとしています。

しかし、本当のところは記事にある「防空計画における一体不可分な関係」の強化だったのではないでしょうか。24項目におよぶ合併覚書事項が、合併後ほとんど実施されなかったのを見ても分かるような気がします。工業地帯や住宅地になるのは、約30年後の事です。

現在は、農地も少なく住宅地として発展していますが、小樽市中心部に行く事を「小樽さ行ぐ」という人が今もいて、そんな所に「朝里人」の心意気が残っているのかも知れません。

朝里川とふる里の川づくりの会

今は、魚も棲む朝里川

ヤマベ放流祭での親子放流

積極的なPR活動

昔の朝里川は水量もかなりあり、魚もたくさんいました。しかし、だんだんと汚れ、コンクリート護岸になった事などもあって、魚はほとんど棲んでいない川になっていました。

この川を、魚が棲めるようなきれいな川にしようと発足し、現在も活動を続けているのが「ふる里の川づくりの会」（会長五味秀勇氏）です。

1985年（昭和60年）の春頃から計画が進められていた会の設立計画は、同年11月17日朝里会館での発足総会で実を結び、当日は市長等来賓も含め約100人も集まりました。その時の初代会長が、現在も新光地区に住んでおられる郷土史家の横川幸作氏です。

翌年から活動は本格化。まずバッジデザイン公募を実施しました。約100点の中から、当時豊倉小学校5年生だった西村威大氏のデザインに決定。会員募集の際に購入してもらい、PR活動を積極的に進めたのです。

稚魚購入は資金援助で協力

第1回の放流は、約500人もの参加者により1986年（昭和61年）6月8日に実施しました。この時の稚魚購入については、財団法人日本釣振興会の全面的な資金援助があり、現在でも継続しているとの事です。毎年約2万尾、昨年までの合計約25万尾分の資金援助は、継続的な活動と会員の熱意があったからこそといえます。

放流しても、遡上できる川でなくてはなりません。周辺の清掃はもちろんですが、段差のある川に魚道を設置する運動には特に力をいれました。その努力の甲斐あって、1988年（昭和63年）に3基の魚道が完成。この翌年には、ヤマベが立派に成長し、サクラマスとなって回帰している事が確認されました。

現在は14基の魚道が完成しており、遡上できる環境に整備されています。実態調査を兼ねた釣大会でも、たくさんの陸封型のヤマベが釣れ、今は魚の棲む朝里川に戻っているのです。また、遡上を可能とする魚道が設置されている河川は、現在道内各地で見受けられますが、ここ朝里川の運動はその先駆けとなるものだそうです。

親子放流を開催

近年は親子放流という事で、親子仲良く放流してもらっています。また、朝里川温泉組合共催でフリーマーケットも開催されています。生き物を大切する経験にはよい機会と思います。一度、参加してみませんか。

焼肉 かさい

夜 5:00～11:00

串焼 ホルモン

焼魚 焼肉 他

30年お世話になった感謝をこめて

朝里十字街下

朝里3－5－30 ☎54－4968

望洋台小学校

現在小樽市内で、28番目の小学校

縄跳び検定の練習に励む子供達
（写真提供 望洋台小学校）

一番新しい学校

望洋パークタウンの分譲が始まったのは、1981年（昭和56年）9月からです。この当時、子供達は桜町小学校に通っていました。その後、分譲販売と共に子供達も増えてきたため、1983年（昭和58年）7月に着工。翌年4月に待望の望洋台小学校が開校しました。小樽市内29番目の小学校で、現在でも一番新しい学校となるわけです。（現在の学校数は、桃内校の統廃合により28校）

開校当初は、現在の玄関より手前側だけの校舎で、6学級151名でした。校舎は、地域の子供達の増加にあわせ、4期にわけて建て増ししていったのですが、増築工事が間に合わず、プレハブ教室で対処した事も数年ありました。最終的に現在の校舎として完成したのは、1994年（平成6年）です。なお、1999年度は、18学級469名と、開校から16年で約3倍にもなっています。

独創的な活動を展開

望洋台小学校の特徴的な活動は、縄跳び検定会です。入学すると、6年間携帯する「縄跳び検定カード」をもらいます。年数回の検定会で、種目が合格する毎に記入していくとの事です。この縄跳び検定会というのは非常に珍しく、他校でもやっていない活動で、既に14年も続いています。この他にも、音楽集会やバングラデッシュの北大留学生との交流会等も、望洋台小学校独自の活動です。このように、他校にはない独創的な活動を展開できるのも、PTAと先生の思いがひとつになってこそです。学校教育目標である「未来に向かってたくましく伸びる、望洋の子」を育てようという、熱意が伝わる活動ともいえます。

朝里の山々に見守られて

もうひとつ特徴的なのは、校舎が朝里の山々に向いている事です。学校というのは、通行量の多い道路に向かって建てられるが普通だと思いますが、望洋台小学校は反対です。むしろ、視界の開けている山々に向いており、四季折々の風景を感じられるように設計されているのです。

教室にいてもグランドにいても、いつも朝里の山々が見守ってくれている望洋の子供達なのです。

内科・神経科・睡眠クリニック
＜医療法人社団ウェルネス＞
望洋台医院
院長 藤田 雅彦
小樽市望洋台2－2－13 TEL 0134-54-1199 FAX 0134-51-2010

宏楽園の桜並木

例年、見事な桜を咲かせる宏楽園

桜が見事な庭園

朝里新光地区での桜名所といったら、やはり宏楽園を抜きにしては語れません。この土地に桜を植え、現在の庭園を造ったのが、宏楽園創業者である故米山清作氏です。

この土地が米山氏の所有地になる以前は、清水農場として拓け、3軒ほどの小作人が畑を耕していました。1937年(昭和12年)、現在の宏楽園を中心とした畑地や山林等、約45000坪という広大な土地を清水氏から購入しました。

朝里に大遊園地を計画

米山氏は当時、稲穂5丁目で銅鉄店を営んでいました。とても商売上手な人で、購入金額は13000円という大金ですが、すべて自己資金で賄ったという事ですから、当時の繁盛ぶりがわかります。購入した3年後は、初代天皇である神武天皇が即位してから2600年という「皇紀2600年」でしたので、これを記念した大遊園地にしようと考えていたようです。入り口には朝里川から運んできた石を積み上げ「二六〇〇年記念」と書いた表札をつけていたそうです。

当時長橋にあった、西川養鯉園の主人と親しくしており、養鯉園の近くの幸町には、寺田省帰が拓いた「常春園」があったので、それが構想のきっかけだったかもしれません。

土地の購入後は、本業の合間に朝里までやってきて、すべて人力、手作業で造りあげていったそうです。それが、現在この地区の桜の名所として育っているのですから、米山氏の先見の明のすばらしさを見る思いです。

戦後 温泉旅館オープン

戦後の農地解放により、約半分の土地は手放す事になりましたが、12000坪に拡がる庭園は残りました。1955年(昭和30年)には念願の温泉も掘り当て、翌年11月に株式会社温泉宏楽園を設立し、1957年4月に旅館をオープンしました。

庭園をそのままの姿で残したいという遺志を守り、木1本石1個に至るまで大切に守り続けているそうです。

ゆったりと露天風呂に入った後は、桜の下で庭園の歴史に思いを巡らしながらビールを飲むのも一興だと思います。

愉快 豪快
ガーデンパーティ!
ジンギスカン・生ビール
レストラン
さくら
TEL 52−0011

定山渓道路

道道小樽定山渓線は定山の計画から56年たって有料道路として開通

青年実業家の夢が実現

1871年(明治4年)、定山和尚は、定山渓温泉のもととなる湯治場を拓くのですが、当時は交通の便も悪く経営は苦しかったようです。いろいろな人に支援を求め、札幌への道路整備に努めるのですが、その時度々訪れるのは、やはり知己の多い張碓、朝里です。そして、ここの浜はにしん漁で活気に満ちていました。定山和尚は考えました。「小樽の人が山越えで湯治にやってこれる道を作れないか」と。

札幌で新聞社他手広く商売をする石川正蔵や小樽の実業家牧口徳太郎の援助のもと、1876年(明治9年)測量をしますが、道路開設のための資金は莫大で、2人ではとても手を出せず、実現しませんでした。

定山和尚が望んでいた道路

それから56年後、この道路計画は突然復活し完成します。

当時の小樽の青年実業家今井孝、加藤豊彦ら5名は、地崎組の息子である地崎晴次と共に、人目を引く、世間をあっと言わせる事業を考えていたようで、小樽市内にモノレールを作る計画をたてます。これが実現しないとなると、次に考えたのが、1930年(昭和5年)に工事が始まる定山渓への有料道路建設だったのです。

晴次は勘当中の身でありながら、父の会社地崎組との交渉の末、2年2ケ月の工期と、約43万円という当時としてはとてつもない大金を投じて完成します。しかし、工事代金は3分の1しか支払わず、しかも株券でだったそうです。

有料バスが運行

彼らは、小樽定山渓自動車道株式会社を設立し、5台のバスと2台の乗用車をアメリカから輸入。南小樽駅前を起点として1日5往復していました。定山が測量した道路に、アメリカ製のハイカラなバスが通る。定山和尚は、あの世で大喜びしたのではないでしょうか。

当初軍用道路を利用していた運行ルートも、朝里十字街から文治沢までの道路改修工事により、1936年(昭和11年)国道より入るルートに変更になりました。この道路改修工事も地崎組でした。

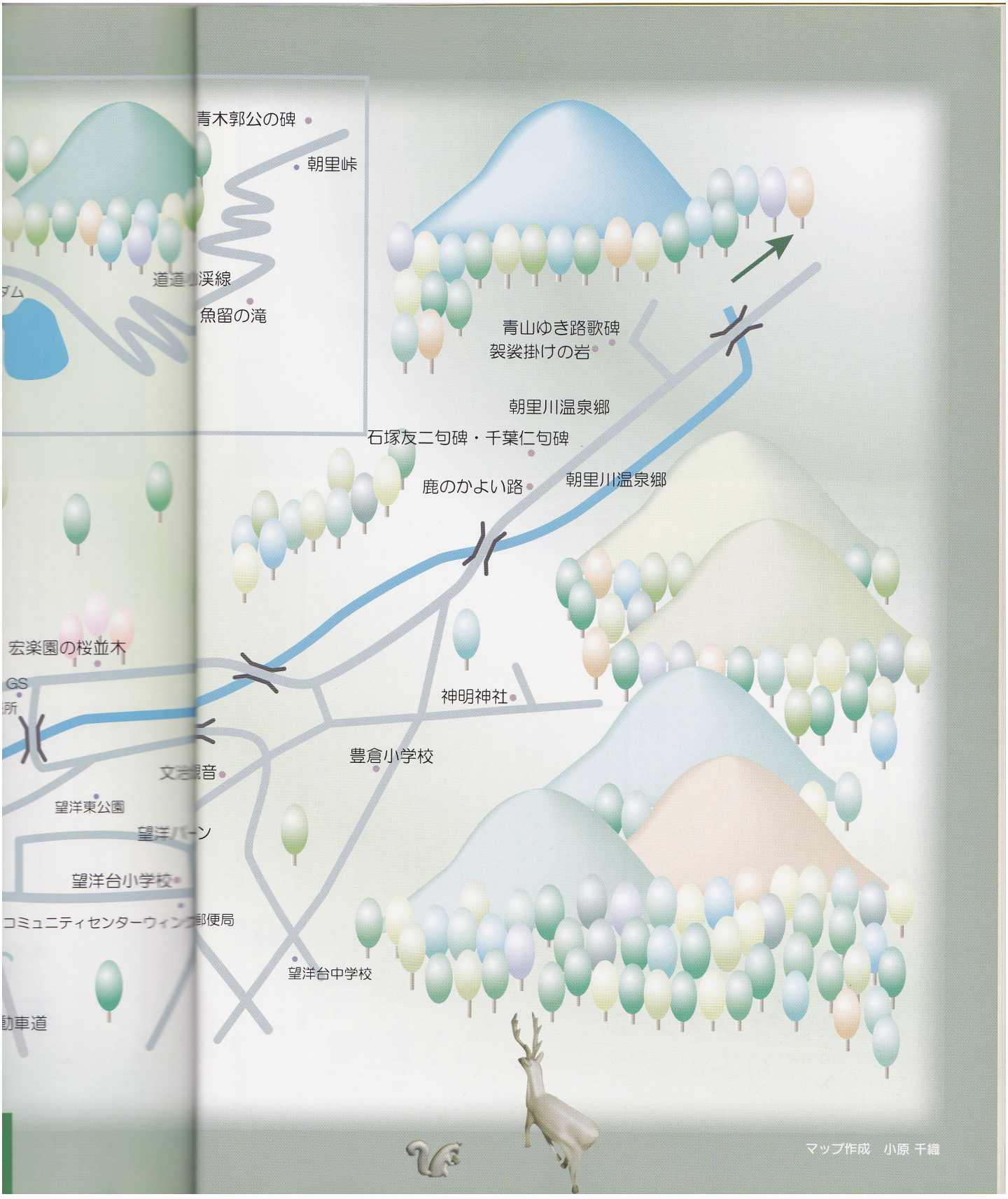
自社以外にも通行料を徴収して通行していたこの道路は、戦争拡大のなかで1942年(昭和17年)閉鎖、この道路が自由に走行できるようになるのは、戦後の1955年(昭和30年)になってからの事です。

北の味紀行 アイスクリーム

白くま特急便

株式会社 サングリーン

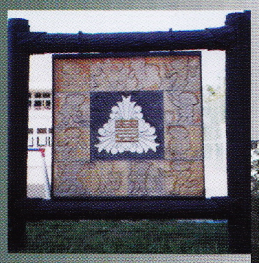
〒047-0152 小樽市新光5丁目3番18号
TEL 0134（代）54-4333番
FAX 0134 52-1490番


青木郭公の碑
朝里峠
道道小樽朝里川温泉小樽渓線
魚留の滝
青山ゆき路歌碑
袈裟掛けの岩
朝里川温泉郷
石塚友二句碑・千葉仁句碑
鹿のかよい路
朝里川温泉郷
宏楽園の桜並木
神明神社
豊倉小学校
望洋東公園
望洋台小学校
望洋台中学校
マップ作成　小原 千繭

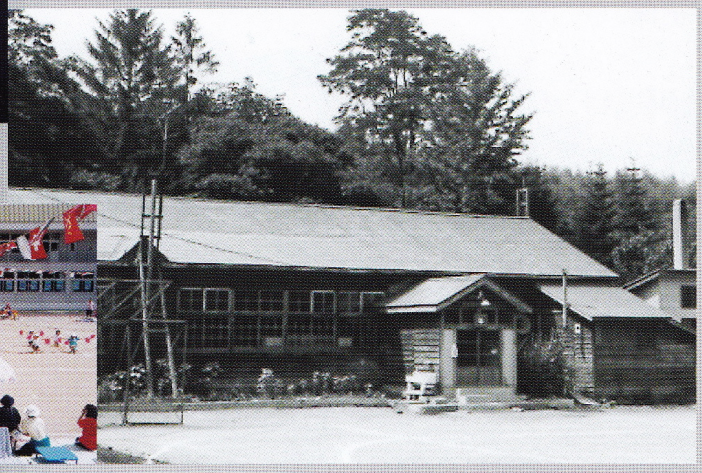
至銭函
神威古潭
札樽国道開通記念碑
並木凡平歌碑
バス停朝里不動尊前
身代り不動明王
バス停朝里神居古潭
柾里神社
三太郎地蔵
ガラス工房
馬頭観世音碑跡
ＪＲ朝里駅
朝里小学校
朝里神社
朝里郵便局
町田外也先生頌徳碑
太平山碑
お小夜・清吉地蔵
至小樽築港
青木郭公の碑
朝里峠
金児杜鵑花句碑
朝里ダム
魚留の滝
朝里インターチェンジ
GS
道新中販売所
宏楽園の桜並木
望洋東公園
望洋台小学校
四つ葉学園
コミュニティセンターウィング
郵便局
札樽自動車道
望洋台中学校

〈朝里再発見〉探訪マップ

豊倉小学校



現在の看板



木造平屋の旧校舎

現豊倉小学校と運動会

昔は木造平屋の学校

鉄筋2階建で、小さいながらもりっぱな豊倉小学校の校舎は、1983年(昭和58年)開校70周年の年に新築されたものです。以前は木造平屋で、私(筆者)が通った小学校にとても似ていて、懐かしく何度も見に来たものです。

この地区には、1911年(明治44年)まで小学校がありませんでした。それまでは、国道5号線沿いにあった熊碓小学校(現桜町小学校)に通っていたのです。通学路には熊が横切るような山道もあった事でしょう。冬期間の事も考えれば、子供どころか大人でも大変な距離です。

念願の学校開設

そこで、文治沢に小学校を建てるべく、地区長だった小野儀之助、熊谷九之七両氏が発起人となり、地区の人たちによる請願や募金を始めたのが、1911年(明治44年)4月。翌年9月1日に熊碓小学校付属特別教授場として、現在地より少し海側へ下った沢沿いに開校します。大人はもちろん子供達の喜びも大きかったに違いありません。しかし、にしん漁に頼っていた村の財政は、数年続きの不漁で悪化しており、学校もたった10年で廃校になってしまいました。地区の人達は「学校無尽会」を設立して私学校として存続。村の運営に復帰したのは2年後の事です。1928年(昭和3年)に現在地へ移転。翌年には待望の独立校になる事ができました。その時の教育方針が「心身一元の勤労精神を尊重愛好せしめ、素直によく働く子供を育てる」でした。

「とよくらっ子」の団結力

この教育方針で育った「とよくらっ子」は教育への熱意と団結力がとっても強いのです。何度もの校庭の整備も、保護者会や青年会が農業の合間に、ひとつひとつ石を拾い砂を入れて作り上げたのです。周りの環境を生かした小鳥の巣箱設置、「川辺の小径」と名付けた遊歩道作りなど自然保護の教育実践は1976年(昭和51年)に知事表彰を受けています。また、学校入口の木の看板は外注により作成したものと思い、安井教頭先生にお伺いしましたら、20年ほど前の卒業記念作品で、あと2枚ほど保存されているので順次取換えていく事になるでしょうとのことでした。この作品にも脈々と受け継がれた「とよくらっ子」の団結力を見る思いでした。

庭木・盆栽・植木鉢等
一般卸小売販売
石澤新光園
小樽市朝里川温泉1丁目56
☎ 54-5355

神明神社

神明神社の例大祭で樽みこしをかつぐ子供達

熊野大権現が祀られている神社

豊倉・朝里川温泉地区での唯一の神社が、神明神社です。今回は、この神社を紹介します。

この神社は、熊野大権現が祀られていて、昔は「熊野さん」の愛称で呼ばれていたそうです。しかし、いつの頃の事か定かではありませんが、日本三大権現のひとつである熊野大権現を、こんな小さな祠が名乗るのはけしからんという話があり、神明神社と変更したそうです。調べたところ、神明社というのは一般的に伊勢神宮の分霊社をいい、祭神は天照大神ですから、熊野大権現は祠の中で苦笑していたかもしれません。

2度の移転で現在地へ

最初に祀られたのは、朝里川1丁目64番地付近の沢地でした。しかし、沢地は雪解け時が大変だからという事で、東側へ約50mほど行った傾斜地の中腹に移転しました。その場所は、落葉松が植えられて平地になっているので、現在でも確認できます。

当時の神社前の道路は、文治沢の人々が、小樽へ野菜を売りに出かけたり、生活物資を買いに行ったりする生活道路でした。しかし、大正末期豊倉に水力発電所が出来て、その関係から、現在の豊倉小学校と望洋台中学校を結ぶ山道が拓かれると、この道を専ら利用するようになりました。すると、神社前の人通りは疎らになったため、人通りの多いところへという事で、現在地へ移転しました。現在地への移転は、郷土史家の横川幸作氏の資料によると1930年(昭和5年)頃という事です。

約百年経った鎮守様

この周辺一帯の土地所有者から土地の寄付をうけて移築。境内には、寄付してくれた事を後世に残すための記念碑が、1937年(昭和12年)5月に氏子一同によって建立されました。ところが、故あってか現在は複数の人の土地となっているようで、境内には境界石も見受けられます。

文治沢の鎮守様として約100年が経ちました。豊倉朝里川温泉地区は、近年マンションの他に一戸建ても多く見受けられるようになりました。地区の人々が氏子一同として末永く祀り、そして守り続けてほしいものと思います。

◆北海道十勝産大豆使用◆
【北の豆菓子】
白しぼり
黒しぼり
木村製菓(株)
小樽市新光5丁目十二番十一号
☎(〇一三四)五四ノ〇七六三番

文治沢馬頭観音

地域の人達の暮らしと交通安全を見守る馬頭観音

転々とした馬頭観音様

望洋台病院前の道路をまっすぐに朝里川温泉へ行くと、左手に観昌寺があります。このお寺の入口に、文治沢馬頭観音の御堂があります。実は、ここが4度目の安置場所になるのです。

望洋台中学校横から、まっすぐ朝里川方面へ下る道があり、すこし下ると左手に昔からのグランドがあります。当初はこの近くに祀られていました。それは、今から80年以上も前の事です。

文治沢から望洋台にかけては、この地に入植した人達が、こつこつと切り拓いていった農地です。それには、農耕馬は欠かせない労働力だったのです。この地の農家の人達が、一生懸命働いてくれた農耕馬達の慰霊のために、1体の馬頭観音を安置しました。数年後、ある農家で足の悪い子馬が死んだ時に、同じ所に一体安置。その後、別の農家の人がさらに一体安置したので、合計3体の馬頭観音が並んでいたそうです。

以前のお堂は雨宿りにも利用された

その後、年代ははっきりしませんが、道々定山渓線の側に移され、さらに文治川に架かる橋の東側に移転しました。付近は農家が点在しているような時代で、今のように家は建て込んでいません。馬頭観音が収められた木製の御堂は、雨宿りのためにも、多くの人に利用されました。まるで、アニメ映画「となりのトトロ」のような世界です。

観昌寺の厚意により安住の地となる

やがて望洋台の分譲開始と共に、道路拡幅工事を実施する事になり、馬頭観音はまたもや移転を余儀なくされました。どこへ移転するかを地域の人達が話しあった結果が、観昌寺の敷地だったのです。当時、観昌寺は建設の真最中だったのですが、住職は快く承諾。こうして1985年(昭和60年)5月22日、御堂新築完成。ようやく安住の地となったのです。お寺が完成したのは、その5ヶ月後の同年10月の事でした。

現在は、3体の馬頭観音をはさんで左に1体、右に2体の観音像と共に、文治沢と望洋台の人達の交通安全と日々の暮しを見守ってくれています。両地区での交通事故がないのは、この観音様が守ってくれているからかもしれません。

浄土宗
観昌寺
併設　小樽ペット霊園
観昌寺　(0134) 52−1187
(0134) 52−3187
小樽市朝里川温泉１−56

朝里川温泉郷

ループ橋から見た朝里川温泉郷

旧 元湯温泉旅館のポンプ小屋

静かでのどかな温泉郷

すぐ近くに山々が連なり、特に秋の紅葉が美しい朝里川温泉郷は、静かでのどかな所です。それは、他の温泉街にあるような歓楽街がなく、心身ともにゆったりと出来る温泉だからでしょう。また、スキー場もすぐ近くで、「スキーを履いたままスキー場に行ける」小樽らしい温泉郷ともいえます。

含土類石膏食塩泉で、神経痛やリウマチ、腰痛、切傷などの効能があるという朝里川温泉のはじまりは、当時の小樽の実業家渡辺俊郎氏等が、1935年(昭和15年)にボーリング調査を行なった時からです。

昔から、鹿が体を癒した所です

この辺りは、昔から「鹿の踊り場」といわれていて、傷ついた鹿が体を癒すために温泉に入っていました。昔は「鹿の踊り場」という字名がありました。鹿が入浴したという言い伝えの場所について、朝里郷土史資料調査研究所の小林定典氏に教えて頂きました。

郷土史家でもあった父親の故小林廣氏に連れられて、この辺りには子供の頃から何度も来ていたそうです。その際に幾度となく教えてくれたのが、温泉橋から山に向かって右手、朝里川の右岸と石倉山に挟まれた所で、現在ラーメン屋さんが立っている所より上流側の平坦地一帯。冬でも雪が積もらず草が見えていたとの事です。

大変賑わった元湯温泉

渡辺氏は、見事に泉脈を発見し湧出に成功するのですが、戦争のため中断。戦後再度ボーリング、1954年(昭和29年)6月、当時のお金で3000万円も投じて元湯温泉旅館「朝里温泉」が完成します。旧大国屋デパート前から無料送迎バスを運行し、隣接地に屋外運動場、裏手の山にはスキー場も併設したので、大変賑わいました。

小樽市もボーリング調査を実施し、1959年(昭和34年)に朝里川温泉センターを建てます。以来、続々と旅館が建ち並び、今の温泉郷が形成されるようになったのです。

二十一世紀を迎える温泉郷

朝里川温泉の先駆けといえる、この2つの建物は、残念ながら現在はありません。温泉発祥の地である元湯温泉旅館跡地は、小樽市立ケアハウス駐車場となり、開業当時のポンプ小屋と松の木が2本、道路沿いに残るのみです。

しかし、現在はホテル、ペンション、オートキャンプ場等が建てられ、新しい朝里川温泉郷として21世紀を迎えようとしています。今では、定山渓という温泉街がある札幌の人ですら、観楓会や忘年会等で利用するのですから、心身共にゆったりと出来る朝里川温泉郷の良さを求めているのでしょう。

鹿のかよい路となみだ川

「鹿のかよい路」
入り口にある東屋

「鹿のなみだ川」

入湯税の還元事業として進められた

朝里川温泉郷に「鹿のかよい路」という遊歩道があるのはご存じでしょうか。

この遊歩道は「豊かな自然にひたってもらおう」という事から、1973年(昭和48年)に工事をはじめて、その翌年の1974年(昭和49年)9月21日に正式オープンしました。延長500m、工事費は463万円。この費用は入湯税の還元事業の一環として進められたのです。鹿が湯浴みして傷を癒していたという言い伝えから、愛称を「鹿のかよい路」と名付けられました。

森林浴にも最適なコース

1976年(昭和51年)には、入り口付近と最上部の2カ所に東屋(休憩場所)や照明灯、途中の小川の小橋架けと、約200mの延長工事を含む工事を実施しました。小川は、アイヌ語でキトエサンナイと呼ばれていましたが、遊歩道完成と共に「鹿のなみだ川」と名付けられました。また、橋には「こじか橋」「めじか橋」など、鹿に因んだ名前を付けて、温泉客に入浴と共に森林浴も味わいながら楽しんでもらえるようになっています。

周遊コースで自然にふれる

私も何度か巡った事があります。入り口は、ループ橋方面に向かって、朝里クラッセホテル手前の左手にあります。少し離れて2カ所あり、周遊コースになっているので、どちらからも入っていけるようになっています。また、途中には、石塚友二と千葉仁の句碑もあるので文学コースとも言えるでしょう。

春にはカタクリの花が、あたり一面に咲きます。また夏も川の流れが涼しげです。子供を連れて森林浴を楽しむのに最適です。

大自然に囲まれたくつろぎの広々空間
本当の優しい自分にもどれるひととき

静かにゆっくりと過ごせる館内と客室、
素材にこだわった自慢のフルコースディナー！
ワンランク上の宿泊が楽しめる
評判のペンションです。
厳選した道産牛やヤマベ料理、
海鮮料理が大好評です。

ペンション
シャドウ・クラッセ

●客室／洋9・和1
全室バス・トイレ・TV・TEL付
●料金／1泊2食付(税別)￥8.800～￥12.000
海の幸コース　旬の海鮮料理￥12.000
●宿泊者特典
隣接クラッセホテルの温泉無料サービス
(また、スポーツ施設も利用可)
平日・土曜日ゴルフパック有り冬期スキーパック有り

ご予約は 0120-4810-94
〒047-0154 小樽市朝里川温泉2丁目681-13
TEL 0134-51-2111　FAX 51-2112

石塚友二句碑・千葉仁句碑

（左）千葉仁碑　囀に／山影動き／初めにけり
（右）石塚友二碑　霏々と降る／雪の中なり／朝里川

全国的に珍しい師弟の句碑

「鹿のかよい路」を入っていくと、途中に句碑が2基建っています。これは、句誌「鶴」を主催していた石塚友二氏と、その弟子である千葉仁氏の句碑です。このように師弟の句碑が並んでいるのは、非常に珍しいのではないでしょうか。

霏々と振る／雪の中なり／朝里川

石塚友二氏は1906年（明治39年）9月20日、新潟県笹岡村生まれ。18歳の時に小説家を志して上京し、本屋の丁稚として働きました。

小説を書く一方で、文壇人の俳句会である「十日会」に入会。以後、「枯野」「馬酔木」を経て、1938年（昭和13年）石田波郷と共に「鶴」を創刊しました。1969年（昭和44年）石田波郷死去後、これを継承。主催者として多くの弟子を育てましたが1986年（昭和61年）2月8日、病に勝てず、死去。「鶴」は現在も弟子が継承し、活動を続けています。

毎年のように北海道を訪れる

石塚友二氏は、鎌倉の自宅から毎年のように北海道を訪れていました。その際に泊まるのは、弟子である千葉仁氏の自宅が朝里川温泉郷でした。それでこの地に句碑は建てられました。

1976年（昭和51年）2月に、小樽で「鶴」全国大会が開かれたのですが、大会に間に合うように前年の10月15日に建立され、石塚友二氏も同席して除幕式を執り行ったそうです。また、全国大会後に門下生全員で、雪の中の句碑を訪ねたそうです。それ以来、毎年2月末には、かんじきを履いて門下生有志で句碑を訪ねているとのことです。

戦後、奥さんのふるさとに来住

囀（さえずり）に／山影動き／初（そ）めにけり

千葉仁氏は1918年（大正7年）10月2日、亀田郡大沼生まれで、御影石の産地として有名な茨城県笠間市稲田で育ちました。若い頃から俳句に親しみ句誌も主催していましたが、1941年（昭和16年）兵役中の満州で、「鶴」の門下生に出会い、入会。終戦後、疎開していた奥さんの実家に来て、三馬に入社。やがて、活動を再開しました。

「さるるん」を発行

1996年（昭和44年）「鶴」北海道支部を結成、その機関誌「さるるん」代表となり現在に至っています。季刊発行の現在75号で、活動歴も長く門下生もたくさん活動しています。「さるるん」という名も石塚友二氏が名付け、題字も書いてくれたとのことですから、弟子思いの彼の心情が伝わってきます。

碑は千葉仁氏の句業を称え、1982年（昭和57年）11月11日に建立されました。因みに、彼の碑は茨城県笠間市にもあるそうで門下生も多くいます。今年81歳ですが、元気に弟子を指導しています。

碑の前で、弟子になったつもりで、一句詠んでみるのも一興です。「さるるん」連絡先 222-0677

青山ゆき路歌碑

元の市営温泉センター前にある巨石の文学碑

少年時代より短歌に親しむ

定山和尚が休んだという袈裟掛けの岩の右側にも大きな岩があります。これが青山ゆき路歌碑です。

豊倉の／流れに沿うて　定山が／袈裟掛け／憩うた　岩顕ち光る

青山ゆき路は本名定次郎といい、石川県鵜川村で1907年(明治40年)8月に生まれました。7歳になった1914年(大正3年)に親と共に来住。少年時代より短歌に親しんでいましたが、大正末期に並木凡平を知り、以来並木凡平が提唱していた口語短歌一筋の人生を歩みます。それは、家業である花園町の理髪店を継いでからも変わることはありませんでした。

並木凡平との出会い

並木凡平についてここでは詳しくは述べませんが、本名を篠原三郎といい、当時は小樽新聞の社会部長でした。彼は1924年(大正13年)1月6日に、小樽新聞紙上で初めて並木凡平の名前で口語短歌三首を発表しましたので、ゆき路はこの頃に知ったのでしょう。当時凡平が住んでいた若松町の借家にも日参したと思います。

1927年(大正2年)、凡平が「新短歌時代」を創刊すると、すぐさま編集同人として参画。その後、凡平と共に「青空」を創刊して活躍。1988年(平成5年)2月、88歳で亡くなりました。

1979年親しい人達が建立

この歌碑は、「青空」同人やゆき路の親しい人達が「青山ゆき路歌碑建立期成会」を発足し、1979年(昭和54年)6月3日建立したものです。昔はバス待合所のすぐそばだったので、知っている人も多いかもしれませんが、夏ともなると草に囲まれてしまうのは残念でなりません。

家庭ゴミ・粗大ゴミ・引越ゴミのことなら
おまかせ！
お気軽にお電話下さい
一般廃棄物・産業廃棄物処理業
(有)小原興業
小樽市新光5丁目27番2号
TEL 0134-54-8316

袈裟掛けの岩

藪の中に入ってしまった定山袈裟掛けの岩

定山渓を拓いた定山和尚

1871年(明治4年)定山和尚は豊平川沿いに開さくして、現在でいうところの「定山渓」に浴室を作ります。そして、その年の7月には開拓史より湯守を命じられ扶持米も与えられました。今でいえば、道立の温泉旅館の管理人といったところでしょうか。張碓の山奥で湯の沢温泉を拓き、ここでも湯治場を拓いた定山和尚。長年の願いがかない、うれしかった事でしょう。しかしながら、山奥で道路もきちんと整備されていないため、生活は苦しく、1874年(明治7年)4月には、開拓史の湯守も廃止され個人経営になってしまうのです。

小樽定山渓間の道路を計画

そこで、にしん漁で賑わっている小樽の人々が直接訪ねてこれる山越えの道路を作るため、1876年(明治9年)8月1日より13日間をかけ、柾夫3人とともに測量しました。この測量の際に、汗を拭うため袈裟を脱いで掛けたものが、この岩といわれています。

昔の川の流れが現在と違っていたとしても、川からかなり離れており、温泉開発される以前の地形を知っている人の話では、当時この岩はなかったとの事ですから、観光のための伝説かも知れません。しかしロマンあふれる伝説であります。

ロマンあふれる伝説を大切にしたい

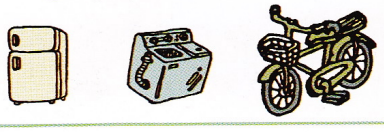
昔は市営朝里川温泉センターの敷地内にあり、温泉行き中央バスの終点で待合所のすぐ隣でした。「明治100年を記念して」と書かれた由来の説明板も建っていたので、よく知られていたのですが、温泉センター廃止後は管理される事もなく、夏ともなれば生い茂った草の中に埋れてしまっているのは残念でなりません。

定山和尚伝説の石です。大切に管理して次世代に継いでいきたいものです。

株式会社 興和産業

本社 〒047-0152 小樽市新光4丁目1番13号
TEL 0134-54-7193
FAX 0134-54-7197
リサイクル処分センター
〒047-0011 小樽市天神2丁目8番1号
TEL 0134-32-2572
FAX 0134-32-2574

営業品目
産業廃棄物処理業
個人宅粗大ゴミ回収
地下タンク埋設配管漏洩検査
タンクローリー漏洩検査
及び安全弁検査業務
その他リサイクル事業



オタルナイ湖とループ橋

豊かな自然に囲まれ
緑に映えるオタルナイ湖（朝里ダム）

道内で初めてできたループ橋

道内初のループ橋

朝里川温泉郷から真っ直ぐ定山渓方面へ向かうと、道内で初めてというループ橋と朝里ダムが目の前に現れます。このループ橋は、1986年（昭和61年）10月2日に開通式が行われ、朝里ダムは満水位までの貯水がされた1993年（平成5年）9月日に完成式がおこなわれました。このダムが建設されたのは、度々発生していた朝里川の氾濫防止と、計画が進められていた望洋パークタウンを視野に入れた上水道の水源確保のためでした。

氾濫の多い川

朝里川は昔から氾濫の多い川といわれていました。近年だけをみても1962年（昭和37年）8月、1965年9月、1975年8月と続いています。今年93歳になる私の義母方の祖母は、若い頃に文治沢の朝里川沿いで農家をやっていましたが、大きな石がごろごろと流れてきて危険なので、潮見台へ移ったという事です。対岸の畑にも行けなかったという事ですから、雪解けや台風の時などの水流はかなりあったのでしょう。

1982年6月の豊倉橋付替えから始まった工事は、水没地域のほぼ中心にあった名古屋在住者の土地買収が難航した事もあり、計画より3年遅れて1993年（平成5年）にすべてが完成しました。

大規模な観光レクレーションを構想

この工事の始まった年の3月、小樽市はダムを中心とした大規模な観光レクリエーション基本開発構想をまとめました。朝里川温泉には、その当時年間64万人が訪れていたそうです。そこに、道内初のループ橋と人工湖であるオタルナイ湖を観光の中心に据え、年間95万人の観光客を呼ぼうという計画です。

この構想は、6エリアに分け実に600ヘクタールにも及ぶものでした。テニスコートや湖畔公園、遊歩道などいくつかは実を結びましたが、動物広場や淡水魚飼育プール、巨大遊具施設など、いくつかの計画は実現しませんでした。朝里ダム周辺は自然が豊かなので、オタルナイ湖の水面の輝きも映えています。ですから、動物広場や巨大遊具施設のような施設は実現しなくてよかったと思います。

定山渓ダムの10分の1の規模という事ですが、人工湖を一周できる遊歩道は気持ちのいいコースです。湖畔にはダム記念館があり、この地域に住んで約45年という人が管理をされていますので、昔から現在までのダムの歴史も教えてくれます。

Lodge Gar Misch ASARI
温泉・民宿
ロッヂ ガルミッシュ
小樽市朝里川温泉2丁目673
HELLO・FAX 0134-54-0212

金児杜鵑花句碑

現在の杜鵑花句碑

本名農夫雄、余市出身

この碑の現在地は、朝里ダムの人造湖であるオタルナイ湖が一望できる第一展望台にありますが、元々は魚留の滝の所にありました。

杜鵑花は本名を農夫雄といい、余市町出身。少年の頃から俳句に親しみ俳人を志しました。塩谷小学校や堺小学校勤務の後、1918年(大正7年)24歳の時に上京、1931年(昭和6年)に「俳句月刊」、1934年(昭和9年)に「俳句世界」を創刊し活躍します。

小樽にも多くの門下生を教える

小樽で働いていた事もあり、小樽にも多くの門下生がいました。この句碑も、その門下生の集まりである俳句世界小樽支部が発起人となり、1935年(昭和10年)8月16日に魚留の滝のそばに建立されました。

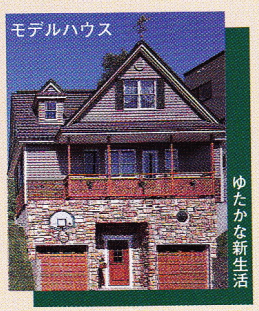
み仏に／滝のしぶきや／百合の花

碑の建立に先立つ1934年(昭和9年)、滝の所には小樽の魚商組合による魚籃観音像が安置されていたので、安置直後に訪れて詠んだのでしょう。

当時、定山渓への道路は私営の有料バス道路となっていたので、見学する人もいた事でしょうが、1942年(昭和17年)道路は閉鎖されてしまいました。同時に訪れる人もなく、魚籃観音に至っては同時に安置された滝見観音像と共に、雪崩で川に転がっていたそうです。

展望台駐車場に移転

戦後になり、2体の観音像と句碑は、旧元湯温泉旅館の建物として現存しているポンプ小屋の横に並んで建っていたと記憶しています。そして1994年(平成6年)、2体の観音像は定山渓にある岩戸観音の洞窟内へ合祀、杜鵑花句碑は現在地へ移転しました。2度も建立地が変りましたが、多くの人に鑑賞してもらえる点で現在地が最適なのではないでしょうか。



輸入住宅
2×4 from New England
New Englands
ツーバイ工法・在来工法
【設計・施工】株式会社 大忠安藤建設
〒047−0152 小樽市新光３丁目26番16号
TEL (0134) 54−1400

魚留の滝

小樽最大の滝・魚留の滝

夏期運行のバス停が目印

朝里川温泉郷から、道内初といわれたループ橋を渡って、定山渓方面へと向かい約6キロ。右手にバス停と魚留の滝の看板があります。昔は、小さな申し訳程度の看板でしたが、現在は少し大きめのものと取り替えられているので見落とす事はないでしょう。ここに車を停めて、山の中の小道を沢の方へと入っていき、約10分で、小樽市最大の滝といわれる魚留の滝につきます。

1846年(弘化3年)と1856年(安政3年)の2度にわたって踏査した松浦武四郎は、西蝦事日誌第四編ヲタルナイ(小樽内)に「ヲカマユアンナイ上に滝あり、その形かまどの形して、両方より差出たる如き瀑布ある故なづける」と書かれているので、アイヌの人達にとっては古くから知っていたのではないかと思います。

涼しさと景観がすばらしい

私も以前に行った事があります。途中、北電の鉄塔の下を通るのですが、そこには「熊出没注意」と書かれてあり、滝の入口にも「熊が出る」と書いてあったので、熊笹が風に揺れて音がしただけでもビクリとしながら歩いていった記憶があります。しかし、恐る恐る歩いただけに、その涼しさと景観は素晴らしいものがありました。

幅15m高さ22m小樽最大の滝

幅は15メートル、高さは22メートルほどあるそうで、「魚留の滝」と名付けた意味がよく分かります。私の記憶では、十数年前に滝の一部が崩れ、昔とは滝の流れが変ってしまっているはずです。

滝というものは、何か神々しい気配を感じさせられるのですが、訪ねる時期は、熊が長い眠りからさめ、大きく背伸びを(?)した後の6月頃からがよいかもしれません。

あなたのカーライフをサポートする

たるしん マイカーローン

■当金庫とお取引きのない方もお申込時のお取引契約で可能となります

変動金利 2.85%

固定金利 3.3%

(保証料別途)

小樽信用金庫 朝里支店

新光2－1－20 ☎0134-52-3121

青木郭公句碑

青木郭公句碑

定山渓道路開通記念碑

車道開く／原始茂りの／雲の上

この句碑は朝里峠上の小樽市境界近くにあります。句碑であると共に、1933年(昭和8年)に開通した小樽定山渓自動車道株式会社の定山渓道路開通記念碑であり、会社設立時の設立者メンバーの一人でもあった中里久造の慰霊碑でもあります。

1935年(昭和10年)に出された「道路開鑿記念句碑と故中里久造君」というパンフレットによれば、開通に際して記念碑を建立する計画は当初からあり、青木郭公に句を詠んでもらっていたようです。1934年(昭和9年)10月の建立に際して、故中里氏の思いを汲む形で、この礎石に彼の遺髪を収めたそうです。

北海タイムス選者として活躍

青木郭公は本名清治郎といい、新潟県糸魚川村出身で、1864年(元治元年)8月生まれ。20代終りに渡道し、道内の新聞社を転々とした後に、北海タイムス社（北海道新聞社の前身）に入社。社会部長になると共に同紙俳壇選者として、亡くなるまでの30数年を勤めました。その作風は明るく、軽妙洒脱の自由さがあり大衆受けしたといいます。

祝津生れの中里久造

中里久造は、祝津村に1888年(明治21年)8月生まれ、小樽中学、早稲田大学に学び、祝津郵便局長の後実業家になります。樽中の同窓生である今井孝らに誘われて参加するも入院。病室からアメリカ製のバスを確認したりしましたが、1932年(昭和7年)9月28日に亡くなりました。

現在定山渓へ気軽にドライブに行けるのも、定山和尚や中里久造のような熱い思いや苦労があってこそと思います。現在は切り通しの上になって道もありません。整備をして欲しいものです。

医療法人 勉仁会

中垣病院
院長　中垣　葵
副院長　山下　努
■診療科目／内科・神経科・精神科・歯科
札幌市手稲区金山1条2丁目1－6
（国道5号線沿い）
☎（011）682－3011（代）
歯科直通（011）682－4371

東小樽病院
院長　小笠原　徹也
■診療科目／内科・胃腸科・呼吸器科・歯科
放射線科・リハビリテーション科
小樽市新光2丁目29番3号
☎（0134）54－7111（代）
歯科直通（0134）54－2530

ラポール東小樽
施設長　北岡　憲一
■老人保護施設
小樽市新光2丁目29番2号
☎（0134）52－3000（代）

朝里の郷土史家・故小林廣

1954年自宅前にて、小林廣氏（写真提供 小林定典氏）

朝里の記録は貴重な資料

朝里の歴史を調べていくと、必ず出会う人がいます。それが、朝里に住んでいた郷土史家の故小林廣氏です。彼は、定山研究をはじめ朝里村に関する多くの事跡を書き残しています。資料は現在「小林家郷土史関係文書」として小樽市博物館に保管され、その数は153点もあるのです。

小林廣氏は、1895年（明治28年）9月14日に早来町で與三太郎（よそたろう）、おすまの五男として生まれ、朝里に移住したのは、1899年5月でした。

1911年（明治44年）17歳の時に朝里駅員となり、1918年（大正7年）3月には恩師町田外也校長に薦められ村役場吏員となり税務を担当。その後、請われて1924年8月から、朝里にあった小樽郡漁業組合事務所の書記として事務職に就きました。

東京大学にのみ現存する朝里村史

朝里村役場が村史を編んだ事が一度だけあり、私の知る限りでは現在東京大学図書館に現存しているのみです。それが1916年の「朝里村史」ですが、2年後に彼が書いた「朝里村史」草稿と比較すると、役場版も彼が書いたものである事が分かります。この事がきっかけとなって郷土研究に興味を持ち、調べ始めたのでしょう。

定山研究の第一人者

彼が定山和尚の足跡を中心として、郷土史研究を本格的に取り組み始めたのは、1932年（昭和7年）頃からでした。そのきっかけを「ある日夢枕に不動尊がたって」思い立ったと書いています。1934年には、定山和尚の養女だったお年寄りに出会い、唯一の刊行本である「定山と定山渓」を出版する事へと大きく発展したのです。当時、定山渓の由来を知る人は、ほとんどいませんでしたから、出版して世に知らしめた功績は大きかったと思います。

戦後、古老への聞き取り再開

戦争で中断していた古老への聞き取りも、戦後に再開。「朝里太平山由来記」「文治澤物語」「恋の弁天島」等、多くの草稿を書き上げるのですが、出版する事もなく1955年（昭和30年）2月28日に脳溢血のために亡くなりました。

郷土研究の他、絵筆も持ち俳句や謡曲もこなす人であり、朝里小学校歌も彼の作詞によるものです。

小林定典氏遺稿を発表

ご子息である小林定典氏は、父の遺志を継ぎ朝里郷土史調査研究所を開設。廣氏の資料を整理して随時発表する予定との事で、1996年（平成8年）には3編をまとめ「定山と定山渓」を刊行されています。この本は、小樽市図書館にもありますので一読されてはいかがでしょうか。

小さな歴史を大切に

私が毎回原稿を書いている机は、終戦直後くらいと思われるちゃぶ台で、実家近くのごみ捨場から10数年前に拾ってきたもの。我が家には、この他に重たい黒電話機、蓄音機や鉄の灰皿などがすべて使用可能の状態で並んでいて、ひとつひとつ思い出深い品々です。

近くにあると、いつも見慣れているため価値に気づかないものがたくさんあると思います。たとえば、足付テレビや湯たんぽ、古い写真など。中には、お小夜地蔵のように、由来も知らず庭先で祀っている地蔵様があるかも知れません。これらは、家族にとっては必要ないものかもしれませんが、一度心を遠くに置いて眺めてみてはいかがでしょう。

一家の大切な思い出の品々

給料を貯めてやっと買った足付テレビでの、東京オリンピックの感動シーン。小さな足で踏みながら、初めて作ったワンピース。お父さんを真似して着た、だぼだぼの背広姿などなど。

そうやって眺めると、そこには大切な一家の思い出があることに気づくはずです。そして、これらと共に過ごした日々の積み重ねがあってこそ、今の生活があるのです。

大切にしたいと思うのは、対象物だけではなく、そこに込められた一家の思い出「小さな歴史」です。「小さな歴史」の集まりが「町の歴史」なのです。

手編みの手袋を展示

住ノ江町に「もったいない博物館」という私設博物館があります。入船薬局を営まれている秋野さんが開設しているのですが、入口正面に毛糸の手袋が展示されています。秋野さんの子供の頃、おばあちゃんが編んでくれたものだそうです。なんの変哲もない手編みの手袋を正面に据えている事が大切で、ここは「小さな歴史博物館」だともいえるのです。

我が家の小さな歴史が大切

私達の地域はとても古い町ですから、こんな博物館がとても似合うと思うのです。この地域に住む一軒ずつに「我が家の小さな歴史展示コーナー」があれば、楽しいでしょう。「小さな歴史」を大切にすることが、豊かな未来へつながる、活き活きとした町づくりとなると思うのです。

この連載に当たって多くの人のご協力を頂きました。特に能登利喜雄氏、小林定典氏、奥山稔氏、林晃一氏には何度もお伺いし、お忙しい時間を割いていただき有り難うございました。また、草間典子氏からは、お父さんである横川幸作氏の郷土資料をお譲りいただき、大変有り難うございました。

連載は終わりますが、知りたい事や分からない事がたくさんあります。昔話をご存知でしたらお教えください。よろしくお願いします。

綜合建設業
土木建築設計施工監理
板垣一級建築士事務所
板垣建設株式会社
代表取締役 板垣 明
TEL(24)1288 FAX(22)1431
小樽市花園4丁目5番16号

おかげさまで、
15年になりました。
これからも
よろしく！
元気なにわとりから、本物のおいしい卵
自然卵
滝下農園
余市町栄町2012 TEL FAX 0135-23-7734
後志平飼い養鶏研究会・北海道自然養鶏会・全国自然養鶏会 各会員
滝下農園
余市町栄町2012
0135-23-7734

ごあいさつ

朝里地区の新光に居を構え、道新の販売所として2年目を送っています。住んでみて、朝里地区の素晴らしさを実感しました。しかし、郷土史や観光ガイドのこれといったものがありません。守谷氏と相談の上、『朝里川プレス』に〈朝里再発見〉の連載を進め、やっとここに朝里ガイド冊子を発行することができました。

できうれば、地元の企業、商社のみなさんと心を一つにして作り上げたいと、広告協賛のお願いをいたしました。たくさんの地域の顔が編まれる結果となりました。お力添えをいただき感謝いたします。個人の方からも協賛をいただきました。ありがとうございます。

また、改めて、守谷明宏さん、小原千賀さん、そして㈱オー・プランさんの完成までの熱意に深く感謝する次第です。

中　一夫

あとがき

先日、徳光満氏宅にお伺いしました。博物館に展示されていてもおかしくない、明治初めの頃からの文書や賞状をたくさん保存されています。代々大切に守っていることに、とてもうれしくなりました。

古い木造の家や書付、小さなお地蔵様の話等にとても興味があります。その当時の思いがしっかりと残っているからとても貴重なものです。

この連載は、多くの人の協力を頂いたおかげで続けられました。この場を借りて、お礼申し上げます。有り難うございました。

また、私の稚拙な文章を根気よく活字におこしてくれた小原千賀さん、そしてこのように冊子にまでして頂いた中一夫社長はじめスタッフのみなさんに感謝いたします。

守谷明宏

守谷明宏

1956年（昭和31年）空知管内雨竜町に生まれる。1975年NTT（当時電々公社）就職。新光1丁目に住み、後に朝里3丁目の社宅に移る。1991年現在地に転居。

現住所
小樽市望洋台1-7-12

歴史を訪ねて
〈朝里再発見〉

平成11年7月30日発行
著者　守谷　明宏
発行者　中　一夫
デザイン　小原　千賀
発行所
㈲北海道新聞中販売所
〒047-0152
小樽市新光4-1-16
TEL（0134）51-2121
FAX（0134）52-0088
制作協力
㈱オー・プラン
表紙写真
中津川　清治
スタッフ
元山葉子・金子富子
山口順弘・嶋田久美子
茎田　茂・大浦佐当志
金沢　勉

納得の一棟！
住む方の身になってをモットーに
一般建築設計施工
牧田工務店
代表　牧田 光雄
小樽市朝里2丁目4番9号　TEL 0134−54−3158　FAX 0134−54−3197

協賛者のみなさま

- 秦　秀円様（正覚寺）
- 井上一郎様
- 井上　晃様
- 上杉重正様
- 新光西町会新和会様
- もとやまうどん店様
- 穂波ふじ枝様
- 牧田佐太郎様
- 金子兼夫様
- 近藤良一様
- 中　恭介様
- 中　祐子様

寿し うなぎ 鮨一（すしいち）
定休日　毎週火曜日・第3水曜日
朝里インター前（新光十字街）
電話　54〜2380（いよ にいさんはいれ）

シャデイ 取扱い店
— 酒・たばこ・米・塩・切手・雑貨 —
贈答品は全国ネットで品数豊富、良品、安値の シャデイ 製品を
LIQUOR & FOODS ほしば
小樽市新光2丁目21番24号
TEL 54−8256
FAX 54−8279

主な参考文献
〈ページ順に沿って表記しました〉

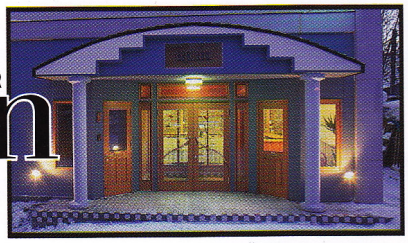
- 「定山と定山渓」小林廣著（1996年刊）小林定典編 ぎょうせい 小樽図書館蔵
- 「定山と定山渓」小林廣著（1939年刊）札幌尚古堂 小樽博物館蔵
- 「美泉定山法印の朝里張碓における事蹟」小林廣著（1934年）小樽博物館蔵
- 「朝里太平山由来記」小林廣著（1951年）小樽図書館蔵
- 「史跡手宮洞窟古彫刻」五十嵐鐵著（1940年刊）小樽図書館蔵
- 「恋の弁天島」小林廣著（1949年）小樽博物館蔵
- 「朝里郷土史（前編）」朝里小学校編（1959年刊）小樽博物館蔵 道立図書館蔵
- 「朝里郷土史（後編）」朝里小学校編（1960年刊）横川幸作氏資料
- 「旧朝里村史料」越崎宗一氏資料 小樽博物館蔵
- 「組合十年の歩み」小樽市漁業協同組合編（1959年刊）小樽図書館蔵
- 「にしん場の風習」小樽市博物館編（1959年刊）道立文書館蔵
- 「朝里校六十年昔話」小林廣著（著年不明）小樽博物館蔵
- 「小学校時代の遠足の思い出とその後の同級生の動静」小林廣著（1954年）小樽博物館蔵
- 「故町田先生頌徳碑 建設記録」小林廣編（編年不明）小樽博物館蔵
- 「旧小樽郡朝里村所在の名所古跡案内」横川幸作編（1986年）横川幸作氏資料
- 「朝里村名勝古跡案内」小林廣編（1934年）小樽図書館蔵
- 「征里神社関連調査資料」能登利喜雄氏資料
- 「小樽郡の史實」小林廣編（編年不明）小樽博物館蔵
- 「郷土研究資料」小林楽堂（小林廣）編（編年不明）小樽博物館蔵
- 「小樽の文学碑」小樽文学館編（1997年刊）小樽文学館刊
- 「北海道大百科事典」北海道新聞社編（1981年刊）北海道新聞社
- 「札樽国道小樽銭函間改良工事写真帖」朝里村役場（1934年刊）道立文書館蔵 小樽博物館蔵 徳光満氏蔵
- 「神社明細帳」道立文書館資料（編年不明）道立文書館蔵（マイクロフィルム）
- 「北海道神社誌」北海道神社庁編（1971年刊）道立文書館蔵
- 「開校百二十年記念誌あさり」朝里小学校編（1996年刊）小樽図書館蔵
- 「朝里郷土史（小林廣氏原本）」（編年不明）小林定典氏資料
- 「朝里村史大正5年10月調」朝里村役場編（1916年）道立図書館蔵（マイクロフィルム）
- 「朝里村史」小林廣著（1918年）小樽博物館蔵
- 「小樽市桜町由来小誌」小樽市（1967年刊）小樽図書館蔵
- 「ホクリョウ四十五年の歩み」ホクリョウ（1994年刊）宏楽園蔵
- 「郷土誌」小樽市幸小学校編（1982年刊）小樽図書館蔵
- 「定山渓道路について」横川幸作編（1974年）横川幸作氏資料
- 「地崎工業百年史」地崎工業編（1992年刊）道立図書館蔵
- 「創立七十年記念誌とよくら」豊倉小学校編（1983年刊）豊倉小学校蔵
- 「熊碓の郷土誌」内田五郎著（1976年刊）小樽図書館蔵
- 「朝里川温泉郷現況写真帳」小樽市編 小樽図書館蔵
- 「小樽市史第九巻」小樽市（1995年刊）小樽図書館蔵
- 「道路開鑿記念句碑と故中里久造君」小樽定山渓自動車道株式会社編（1935年）横川幸作氏資料
- 「小林與三太郎翁傳」小林廣著（1949年）小林定典氏資料

取材協力

能登利喜雄氏・小林定典氏
奥山稔氏・林晃一氏・木戸英二氏
長千里氏・水間政憲氏・三吉清文氏
末木堯氏・横川典子氏・徳光満氏
久家フミ氏・千葉仁氏・石神敏氏
㈱宏楽園・㈱小樽都市開発公社
朝里小学校・豊倉小学校・望洋台小学校・観昌寺・小樽博物館
奥沢天満宮
その他朝里地区・新光地区・朝里川温泉地区・豊倉地区・望洋台地区にお住まいの関係者のみなさん

MANPAKU
株式会社 万博
〒064-0918 札幌市中央区南18条西15丁目
TEL(011)561-6266 FAX561-6298
●東芝OA機器●ミノルタOA機器●プラスオフィス家具●デュプロ機器●

Duplo®
株式会社 デュプロ北海道
〒064-0918
札幌市中央区南18条西14丁目2番15号
TEL011-518-5511 FAX011-518-5551

小樽と共に
CREATIVE CENTER o-plan

企画・デザイン・出版・広告代理
株式会社 オープラン
〒047-0031 小樽市色内1丁目9番6号
TEL (0134) 29-1003 (代)
FAX (0134) 29-0594

新鮮なくつろぎを求めて

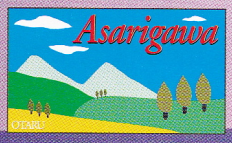
Otaru Asarigawa Onsen

小樽朝里川温泉

本当のくつろぎは、ここから始まる。

Resort & Sports

STAY
SPA
SKI
TENNIS
CAMP
PARK GOLF



自然のダイナミズムが、絶妙なバランスで同居する朝里川周辺。
すべてを抱く鼓動を、感じとって下さい。

Infomation

- 小樽市……☎0134-32-4111
- (社)小樽観光協会……☎0134-33-2510
- 運河プラザ観光案内所……☎0134-33-1661
- 駅前観光案内所……☎0134-29-1333
- 浅草橋街園観光案内所……☎0134-23-7740

ようこそ 朝里川温泉へ

Guide Map

旅先案内パンフレット

●発行／朝里川温泉組合

朝里川温泉スポット情報

■スキー／朝里川温泉スキー場 ……TEL(0134)54-7451
■ゴルフ／札樽ゴルフ倶楽部〔18ホール〕 ……TEL(0134)54-5511
■パークゴルフ／札樽パークゴルフ場〔18ホール〕 ……TEL(0134)54-1900
／マリンヒルホテル小樽〔18ホール〕 ……TEL(0134)52-2929
■テニス／朝里テニスコート〔4面〕 ……TEL(0134)54-1900
マリンヒルホテル〔4面〕 ……TEL(0134)52-2929
かんぽの宿朝里荘〔1面〕 ……TEL(0134)54-8511
小樽朝里クラッセホテル〔2面・インドア1面・プール体育館設備あり〕
……TEL(0134)52-3800
■キャンプ／貸別荘ウィンケル オートキャンプ場 ……TEL(0134)52-1185
■海水浴／朝里海水浴場
■朝里ダム公園

温泉イベント

- 6月／やまべ放流祭(朝里川)
- 8月／盆踊り(宏楽園向い)
- 10月／無農薬野菜市
(オートキャンプ場)
- 2月／雪あかりの路
(温泉地区)

朝里川温泉・食べ処・飲み処

●レストラン
ロードレストランシルフィールド(小樽朝里クラッセホテル内)
レストランさくら(温泉 宏楽園内)

●和食・居酒屋
居酒屋倶楽部 Bell Wood
和食処 紅紫葉(小樽朝里クラッセホテル内)
飲み食い処 遊膳(ホテル武蔵亭内)

●スナック・カラオケ・バー
スナック ルシアン(ホテル武蔵亭内)
プールサイドバー ル・バール(小樽朝里クラッセホテル内)
カラオケ(マリンヒルホテル小樽内)
カラオケディスコ ノクス(小樽朝里クラッセホテル内)
Out Back Cafe(貸別荘ウィンケル内)

■朝里パークホテル自慢の『フィールドプレイ倶楽部』
ドライブガイド・スキーガイド・フライフィッシング・マウンテンバイク・シーフィッシング・ガラス工芸体験・山菜狩り・サイトシーイング・ラフティングカヌー・バードウオッチング・ソフトサイクリング・昆虫採集・ウッドクラフト・ホーストレッキング・軽登山・サンドブラスト・キャンプ・スノーシュートレッキング・ウオーキング・ヨットクルーザー
※フィールドプレイクラブは今まで手が届きそうで届かなかったアウトドアフィールドへお客様をご案内致します。尚、詳細は朝里パークホテルホームページにも掲載されています。お気軽にアクセスして御覧下さい。

朝里川温泉飲食店

●喫茶リヴァーサイド

☎0134-54-7824
小樽内湖の行楽、スキー帰りに、心あたたまるくつろぎのひとときを。

●ラーメンハウスじょっぱり亭2号店

☎0134-52-4077
TV「ごちそうさま」出演の店。必食の価値と味に自信有り。

●居酒屋倶楽部 Bell Wood

☎0134-52-0070
温泉街唯一の居酒屋。北都小樽の新鮮な魚介類。味とボリュームで乾杯。

●小樽丘の上ビール

☎0134-52-2626
最大級のログハウスのぬくもりの中、地ビールと創作料理が大好評。

朝里川温泉の効能

●泉質●
カルシウム
ナトリウム・塩化物泉
●適応症●
神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩
運動麻痺・関節のこわばり
うちみ・くじき・慢性皮膚病
病後回復・疲労回復
健康増進

朝里川温泉 宿泊施設のご案内

Otaru Asarigawa Onsen

●温泉 宏楽園

☎0134-54-8221

二万坪の庭園、純和風の温泉宿。露天風呂付のお部屋もございます。

日帰り入浴　露天風呂

●朝里観光ホテル

☎0134-54-8811

和洋2種類の大浴場は男女交代制。旬の食事はお部屋でゆっくりと。

日帰り入浴　露天風呂

●小樽朝里クラッセホテル

☎0134-52-3800

1泊2食付、1万2千円より…露天風呂・プール等スポーツ施設有。

日帰り入浴　露天風呂

●朝里パークホテル

☎0134-54-8009

1泊2食付、9千円より…豊かな自然と、あたたかい心でおもてなし。

日帰り入浴

●かんぽの宿朝里荘

☎0134-54-8511

1泊2食付6,700円より。日帰り入浴500円。レストラン・喫茶コーナー有。

日帰り入浴

●ホテル武蔵亭

☎0134-54-8000

「味を語る宿。」

日帰り入浴　露天風呂

●マリンヒルホテル小樽

☎0134-52-2929

石狩湾が一望に見下ろせる丘の上にあるリゾートホテルです。

日帰り入浴

●湯鹿里荘

☎0134-54-5353

入浴料、大人500円・小学生300円。15名以上団体は2割引です。

日帰り入浴

●旅館 植木屋

☎0134-54-4974

1泊2食付。

温泉使用

●貸別荘 ウィンケル

☎0134-52-1185

4～14名用の貸別荘。平日1棟14,500円～。ジャグジーやサウナ付有。

●ロッヂ ガルミッシュ

☎0134-54-0212

ヨーロッパアルプスの民宿をイメージした、カジュアル感覚の宿です。

温泉使用

●プチホテル ろーまん

☎0134-52-2118

小さな宿ならではのおもてなし。楽しい旅のお手伝いいたします。

温泉使用

●ペンション シャドークラッセ

☎0134-52-0070

たのしいペンションへおいでませ。1泊2食付8,800円。

温泉使用

今、朝里川温泉では21世紀に向かい、全国の皆様に朝里川温泉を知っていただくため、インターネットホームページを開設致しました。朝里川温泉の情報・各施設の情報が盛りだくさんです。

http://www.otaru-asari.co.jp

どんどんアクセスして下さい。お待ちしています。

祭 まつり

小樽の街は祭の街。5月～9月の期間中は市内のどこかで、かならず祭囃子の音が聞こえます。

小樽市内14大祭り

- 招魂祭……5月中旬
- 不動院……5月下旬
- 潮見ヶ岡神社……6月上旬
- 小樽稲荷神社……6月上旬
- 水天宮……6月中旬
- 竜宮神社……6月中旬
- 豊足神社……6月下旬
- 成田山新興寺……6月下旬
- 熊碓神社……7月上旬
- 高島稲荷神社……7月上旬
- 塩谷神社……7月中旬
- 住吉神社……7月中旬
- 天満宮……8月下旬
- 朝里神社……9月上旬

- 北海風っ子まつり　5月下旬
- 陶器市　6月下旬
- つつじまつり　5月下旬
- おたる潮まつり　7月下旬
- 小樽天狗山まつり　9月中旬
- ウインターフェスティバル　2月上旬
- 小樽運河ロードレース　6月中旬
- スプラッシュ・オン・ザ・ストリート　7月中旬
- 小樽国際音楽祭　8月上・中旬
- おたるワインカーニバル　9月中旬

小樽市内イベント

- おたる水産まつり　10月上旬
- 祝津秋の味覚まつり　10月上旬
- 小樽グラスフェア　10月上旬
- 小樽あかりの市　11月上旬
- クロスカントリー大会　1月上旬
- 全道少年ジャンプ大会　3月上旬
- 全道クロスカントリースキー大会　3月下旬
- 全国少年ジャンプ大会　3月下旬
- ジャイアントスラローム大会　3月下旬

小樽観光スポット

- 小樽運河
- 旧日本郵船株式会社
- ベテルブルグ美術館
- 北一硝子
- 石原裕次郎記念館
- 小樽交通記念館
- おたる水族館
- 天狗山ロープウエイ
- 旧青山別邸
- マイカル小樽

小樽朝里川温泉ガイドマップ

ターゲットは「360°全方位」

朝里地区

海と自然の魅力を満喫する朝里川温泉。
今年こそ行きたい、見てみたい…後志観光の拠点、朝里川温泉。
ここから、「360°全方位」の旅が始まります。

小樽お酒自慢

製造酒類 ビール

小樽丘の上ビール
小樽市桜４丁目10番１号
TEL(0134)54-8090
FAX(0134)54-8335

製造酒類 清酒・みりん リキュール

田中酒造株式会社
小樽市色内３丁目２番５号
TEL(0134)23-0390
FAX(0134)22-7210

製造酒類 清酒 乙類焼酎

北の誉酒造
小樽市奥沢１丁目21番15号
TEL(0134)22-2176
FAX(0134)32-6730

製造 果実

北海道ワイン株式会
小樽市朝里川温泉１丁目
TEL(0134)34-2181
FAX(0134)34-2183

歴史がある…心がある…ものづくりを志してきた北の風雪がここにある。

小樽ビール
小樽市港町５番４号
TEL(0134)21-2323
FAX(0134)21-2327

製造酒類 ビール 発泡酒

海鱗丸ビール
小樽市高島１丁目８番16号
TEL(0134)33-5623
FAX(0134)33-5639

製造酒類 発泡酒

山二渡部
小樽市稲穂４丁目６番１号
TEL(0134)24-0101
FAX(0134)24-0103

製造酒類 清酒

雪の花酒造
小樽市真栄１丁目８番１
TEL(0134)22-4364
FAX(0134)25-4314

製造 清 リキュ

そば処
朝里伊佐美屋
毎度有難う御座います
小樽市新光五の十九の十一
電話五四の一九七七

そば・うどん・お食事
そば処あさり
小樽市新光1丁目3番10号
☎(54) 0550
●営業時間　AM11：00～PM10：00
（オーダーストップPM9：30）
●定休日　毎週月曜日

長谷川はり灸接骨院
診療時間
平日　AM8：30～12：00
PM2：00～6：30
土曜　AM8：30～PM2：00
水曜午後・日曜・祝祭日　休診
各種保険取扱
小樽市新光2丁目1番28号
TEL (0134) 54−4770

精神科・神経科
医療法人社団豊明会
木下病院
理事長・院長　北野明宣
小樽市新光1丁目7番7号　TEL 0134-54-8714 (代)
FAX 0134-54-8337

吉田歯科医院
小樽市朝里4丁目5番8号
TEL54−4619

左官・タイル・ブロック工事一式
北武左官工業所
小樽市新光4丁目11−13
☎52−2045 FAX54−4190

土木・除雪
(有)渡部ブルドーザ
小樽市桜3丁目11番1号
電話(代)54−3800

皆様の快適な住まいづくりを目ざして
一般建築請負・設計施工監理
銀行住宅ローン・住宅金融公庫融資住宅・日立増改築ローン
二級建築士設計事務所・北海道知事許可(後)第274号
北海道知事許可(後70)第630号
木村建築(株)
小樽市新光5丁目4番1号
事務所☎54−3755（代）
FAX ☎54−5965

各種新車販売・各種中古車販売・板金塗装・車検整備
一般用品販売・各種保険代理店
あなたの愛車を
真心でお届けします
越後商会有限会社
小樽市新光2丁目14番35号
（朝里ハイウェイボウル向）
TEL (0134) 54−0320

あさり小樽自動車学校
北海道公安委員会指定

0120-24-8131

心もあったか…味とくつろぎ
小宴会 小会合 に あさり 味処 橘亭 を
ご利用下さい。
〈居酒屋・お食事〉あさり味処橘亭（たちばなてい）
小樽市新光1-3-15　TEL52—0515

葬儀時の真心こめた……今大好評の
日用品供物
（供花・果物以外の供物です。）
お寺・会館など
葬儀式場へお届け
<バラエティーに取揃>
○キンラン大座布団
○線香・ローソクセット
○コーヒー・茶セット
○タオルなどセット
○その他
小樽供物センター（代表 橘 正次）
小樽市花園3-9-12　電話 (0134) 25-7912 (0134) 23-4380

安全・快適・親切
全道ネットの
金星ハイヤー
ハイヤーのご用命は24時間営業の
無線配車センター 23-8181
金星ハイヤー
小樽市花園4丁目1番16号

自転車・オートバイ・除雪機
モト・サイクル
ポパイ
新光2丁目21-1　☎52-2030

高級呉服・京、染
やまとみ富樫
新光十字街バス停横
電話 54-8944

各種ウェス・ウェス手袋・雑巾
製造販売
創業65年
打越繊維株式会社
〒147-0154
小樽市朝里川温泉1丁目216
電話（0134）54-7121～7122
FAX（0134）54-7122

おべんとう
ぽっぽ亭
新光4丁目1
☎54-3218
揚物・惣菜
原商店
新光2丁目1
（朝里市場内）
☎54-0898

好きですりつぼハ®
朝里店
小樽市新光2丁目1番26号
朝里市場2F
☎0134(52)4637

橋本建設(株)グループ
SUN-FISH SPORTS CLUB
小樽サンフィッシュ
スポーツクラブ
小樽市若松1-4-14（ロジェ若松1階）
☎(0134) 29-0335

BIGTEN 写真&パソコン
代表 横田 久俊
〒047-0152 小樽市新光 2-1-28
温泉道路 朝里交番向かい
フリーダイヤル ☎0120-855-854

ほわっとしたいね
くつろぎの宿
朝里観光ホテル
小樽市朝里川温泉2丁目686
☎ 0134(54)8811

自然とゆとりの休日をあなたへ
ROMAN in OTARU
プチホテル ろーまん TEL・FAX 0134-52-2118
〒047-0154 小樽市朝里川温泉 2 丁目753番地

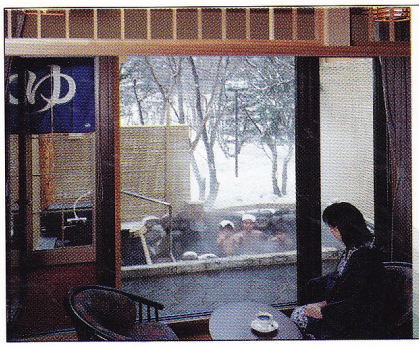
ペンション
パインハウス
TEL・FAX 0134
54-0661
Pine House

いつも笑顔でおもてなし
●国際観光旅館連盟会員 ●日本観光旅館連盟会員
<小樽・朝里川温泉でのお泊まりは>
朝里パークホテル
小樽市朝里川温泉 2 丁目686
☎(0134) 54−8009

朝里川温泉スキー場
札樽ゴルフ倶楽部
ASARI
日観興業株式会社
スキー場
小樽市朝里川温泉 1 丁目 ☎(0134) 54−0101
ゴルフ場
小樽市朝里川温泉 1 丁目 ☎(0134) 54−5511

寒冷地の水道機器の開発に
ひたむきに努力しています
＊社団法人 日本水道協会検査工場
HIKARI GOKIN
株式会社光合金製作所
代表取締役社長 井上 一郎
本社 小樽市港町 6 番 1 号
TEL 0134−32−1119(代)
FAX 0134−23−9511
朝里工場 小樽市新光 5 丁目11番 1 号
営業所 札幌・盛岡・松本
出張所 函館・旭川・苫小牧
仙台・秋田

本間運輸株式会社
代表取締役 本間 正一
小樽市朝里 2 丁目 6 番15号
TEL (0134) 54−5454(代)
FAX (0134) 54−0982



露天風呂付和室で贅沢至極

◎小樽 朝里川温泉

２万坪の庭園
純和風の宿

宏楽園

TEL 54−8221

貸別荘？ってどんなとこ？

朝里川温泉

スポーツ三昧！

温泉三昧！

楽しみ三昧！

貸別荘料金表

	3名 キャンピングカー	4名	5名	7名	9名	11名	12名	14名
平　日	12.000	14.500	17.000	23.000	29.000	35.000	38.000	44.000
金曜、夏・冬休みの前日	14.500	17.000	19.500	25.500	31.500	37.500	40.500	46.500
休日前日	17.000	19.500	22.000	28.000	34.000	40.000	43.000	49.000

・光熱費・暖房料金途　　＊単位円

2泊目からは基本料金半額（夏休、連休除く）

http/www.Otaru-asari.co.jp/winkel/winf.htm/

オートキャンプ＆貸別荘
小樽市朝里川温泉２−687

ウィンケル

0134−52−1185

ゆらぎの里

海の幸、山の贅。

料理自慢のお宿です。

港町小樽の海の幸。
豊かな実りに恵まれた山の贅。
ふんだんな季節の食材を、
確かな腕で丹念に仕上げた逸品料理の数々。
贅を尽くした本物のおもてなしが、
武蔵亭の自慢です。

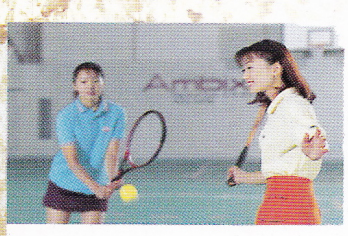
小樽朝里川温泉

ホテル 武蔵亭

〒047-0154　北海道小樽市朝里川温泉2丁目686番地

0134-54-8000

天井高く、インテリジェンスな香り漂うロビー。
誰かを待っている、そのときも「くつろぎ」の
言葉を忘れません。



SPORTS

思う存分遊び尽くすのも、朝里クラッセ流リフレッシュ。スポーツアリーナでは、テニス、バスケット、バレー、スカッシュなどの球技や、アスレチック、プールなど多彩なスポーツをオールシーズン楽しめます。

使い古された言葉など使いたくはない
感じるままに聴かせて欲しい、貴女の言葉。

SPA

思豊かな自然に囲まれた、情緒溢れる露天風呂。夜にはライトアップされ、心地よさも一層高まります。
本格サウナでは爽快な汗を、大きな窓がついた大浴場では伸びやかなひとときを満喫できます。

小樽 朝里クラッセホテル

〒047-0154 小樽市朝里川温泉2丁目676

お問い合わせ・ご予約は

TEL.0134-52-3800

大高酵素株式会社

小樽本社
〒047 北海道小樽市桜1−22−10
☎0134-54-7311

伊達営業所
〒059 北海道伊達市北稀府町121
☎0142-24-1231

東北営業所
〒020 盛岡市中野1丁目5−29
☎0196-24-1715

東京支店
〒134 東京都江戸川区南葛西6−33−10
☎03-5605-3111

金沢営業所
〒920 金沢市諸江町中丁331−1
☎076-237-1156

大阪支店
〒550 大阪市西区九条南2−31−14
☎06-581-3371

福岡営業所
〒815 福岡市南区清水3−24−7
☎092-552-2557

健康と美容に奉仕して60年

朝里の自然と歴史と文化を
活かした町づくり

”ふる里の川づくりの会”と共に
第14回「ヤマベの放流祭」

ボランティアを募って
「温泉道路クリーン運動」

朝里を愛し将来を考え、豊かな町づくりを目指す市民団体です

朝里のまちづくりの会　会長 五味　秀勇

事務局　(有) 北海道新聞中販売所　☎ 51−2121　FAX 52−0088

小樽の文化を育む会

代表 中　一夫
渡部　智

事務所　小樽市新光４丁目１番16号
(有)北海道新聞中販売所内

TEL　0134-51-2121
FAX　0134-52-0088

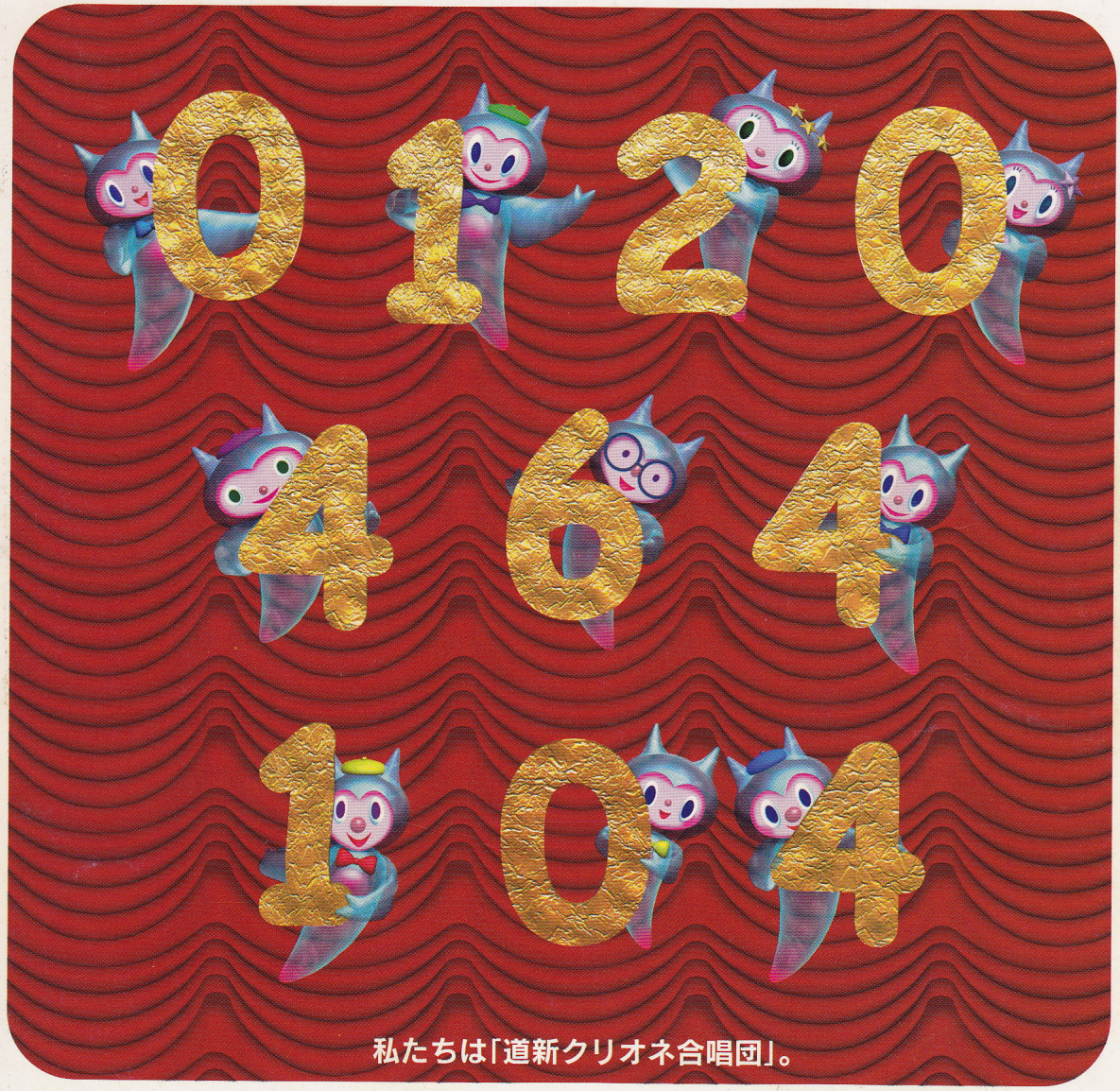
歴史を訪ねて　朝里再発見

発行所　北海道新聞中販売所

定価390円（税込）

あるある情報、活力いっぱい!

北海道新聞



購読のお申し込みは、お近くの販売所または

ヨムヨ・ドーシン

0120-464-104